

A Microsoft Surface laptop with a silver keyboard and a blue textured cover is shown at an angle. The screen displays the Windows 10 interface. A silver Surface Pen lies on the surface next to the laptop. A large, semi-transparent pink arrow graphic points from the laptop towards the right side of the image. The text "Surface ワークショップ" is overlaid on the laptop in white.

Surface ワークショップ

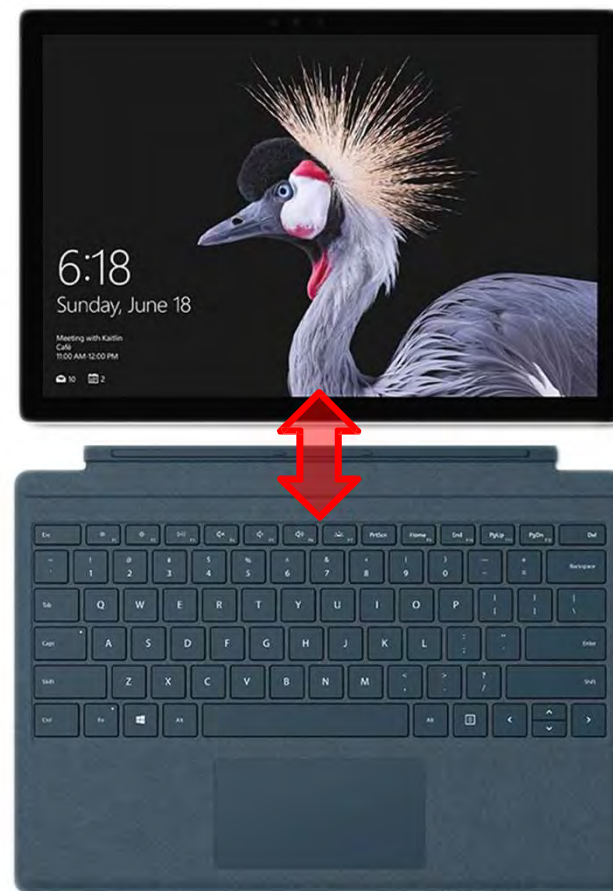
Surface 全体

タイプカバー

- 1 カバー兼用のキーボードを切り離すと、画面がタブレットになります。

キーボードを接続すると
ノートPC になります。

着脱は自由にできます。



キックスタンド

- 1 キックスタンド（背面の可動式スタンド）の角度を調整してみましょう。

普通に立てたり、大きく開いて置いたり、完全に畳んでテーブルに水平に置いたりしてみましょう。



Cortana (Windows 10 のアシスタントAI)

1 Cortana の音声認識を確認してみましょう。

右下の[マイクボタン]をタップして
話しかけてみましょう。
計算をさせたり、現在地の天気を聞いたり、
ニューヨークの現地時間を調べてくれたりします。



マイクボタン

タッチによる拡大縮小スクロール

- 1 Web ブラウザー（Microsoft Edge）を開きます。
- 2 アドレスバーに下記のアドレスを入力し、MSN のWebサイトへアクセスします。
<http://msn.com.ja-jp>
- 3 二本指を用いてページの表示を拡大してみたり、縮小したりしてみましょう。

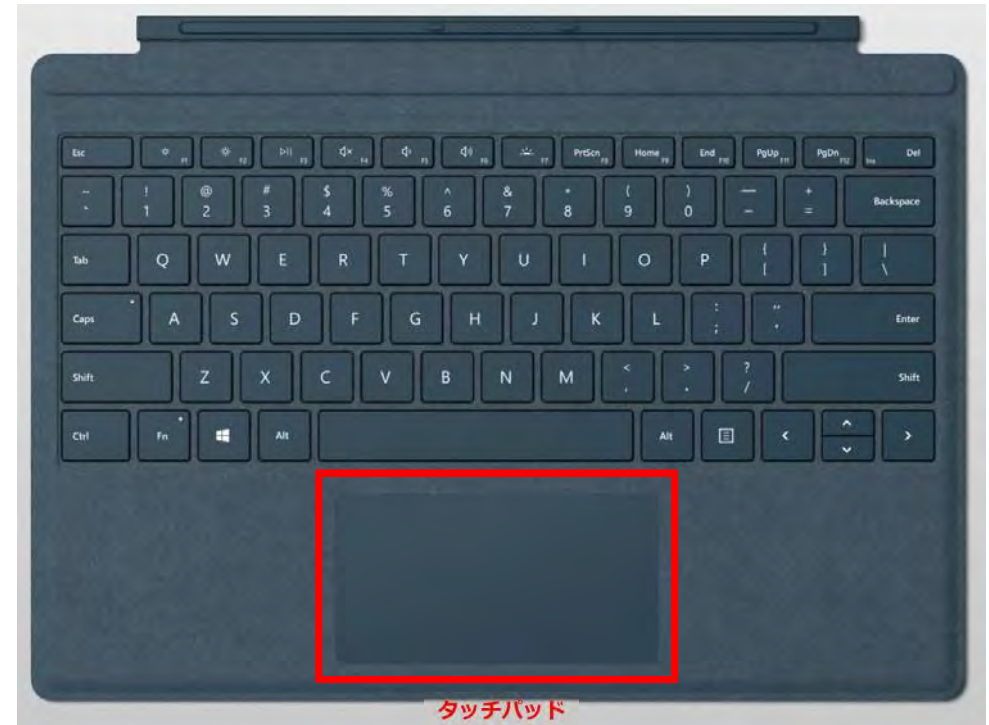


Microsoft Edge

ジェスチャー機能①

- 1 タッチパッド上で1本、2本、3本
及び4本の指を使って
それぞれのジェスチャー機能を使ってみましょう。

次ページ以降の操作説明をもとに、
パッドをなぞっていきましょう。



ジェスチャー機能②

2 タッチパッドで下記の操作をしてみましょう。

2本の指でタップすると
右クリックと同じ動作となります。

1本指で2回タップしてドラッグすると
複数選択が出来ます。

2本の指で上下ドラッグすると
スクロールできます。



ジェスチャー機能③

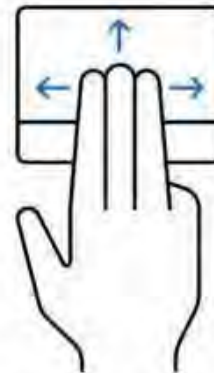
3 タッチパッドで3本指操作をしてみましょう。

複数ウィンドウを開いた状態で、3本指でタッチパッドを上にはスワイプしてみましょう。

3本指でタッチパッドを上にはスワイプしてみましょう。

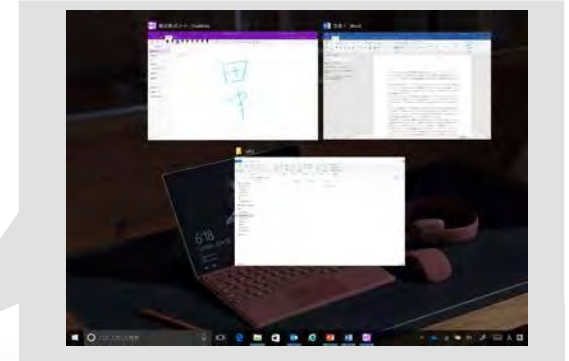
3本指でタッチパッドをタップして [Cortana] で検索してみましょう。

3本指ジェスチャ



タップ Cortana で検索

- ↑ マルチタスク表示
- ↓ デスクトップの表示
- ← アプリの切り替え
- アプリの切り替え



タッチ操作①

- 1 Surface はスマホやタブレットと同様に、画面をタッチしての操作が可能です。タッチの基本操作は以下の通りです。



タップ
対象に軽く触れる動作です。
(マウスの左クリック)



ダブルタップ
対象をすばやく2回触れる動作です。
(マウスのダブルクリック)



長押し
対象を1～2秒押し続けてから離す動作です。
(マウスの右クリック)



スクロール
指を横方向あるいは縦方向に滑らせて、画面をスライドさせる動作です。
何もない所に触れて滑らせます。



ドラッグ
指を対象に触れたまま、いずれかの方向に移動させる動作です。
すぐに離したりせず、ゆっくり落ち着いて動かしましょう。



画面端からのスワイプ
指を対象に触れたまま、いずれかの方向に移動させる動作です。
すぐに離したりせず、ゆっくり落ち着いて動かしましょう。



項目のスワイプ
ページがスクロールしない方向に項目を短くスライドさせます。
タイルの選択(スタート画面)、写真の選択(フォトなど)、メールの選択(メール)などで使用できます。



ピンチ
2本以上の指で、画面または項目をタッチし、指を互いに近づけたり引き伸ばしたりする動作です。
表示の拡大・縮小に使用します。

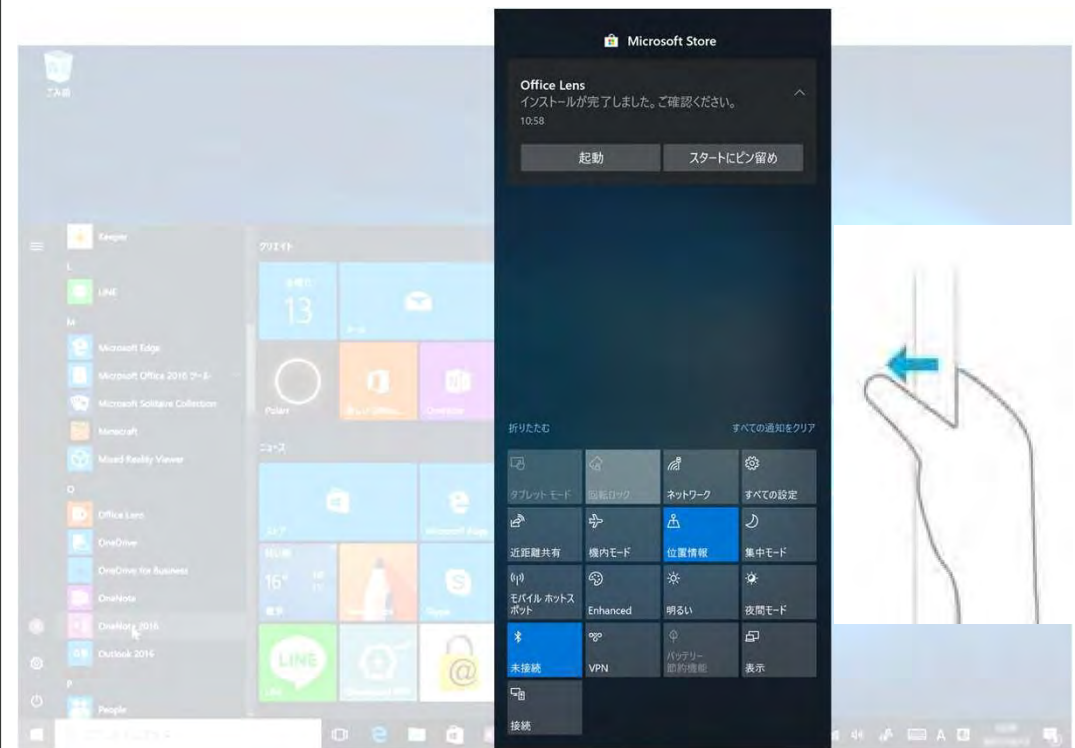
タッチ操作②

1 アクションセンターを呼び出す

「アクションセンター」は、アプリからの通知を表示する機能です。

ジェスチャでアクションセンターを呼び出すには、画面右端から左へとスワイプします。

下部に並ぶ「クイックアクション」ボタンでいろいろな機能をワンタッチでオン/オフできます。

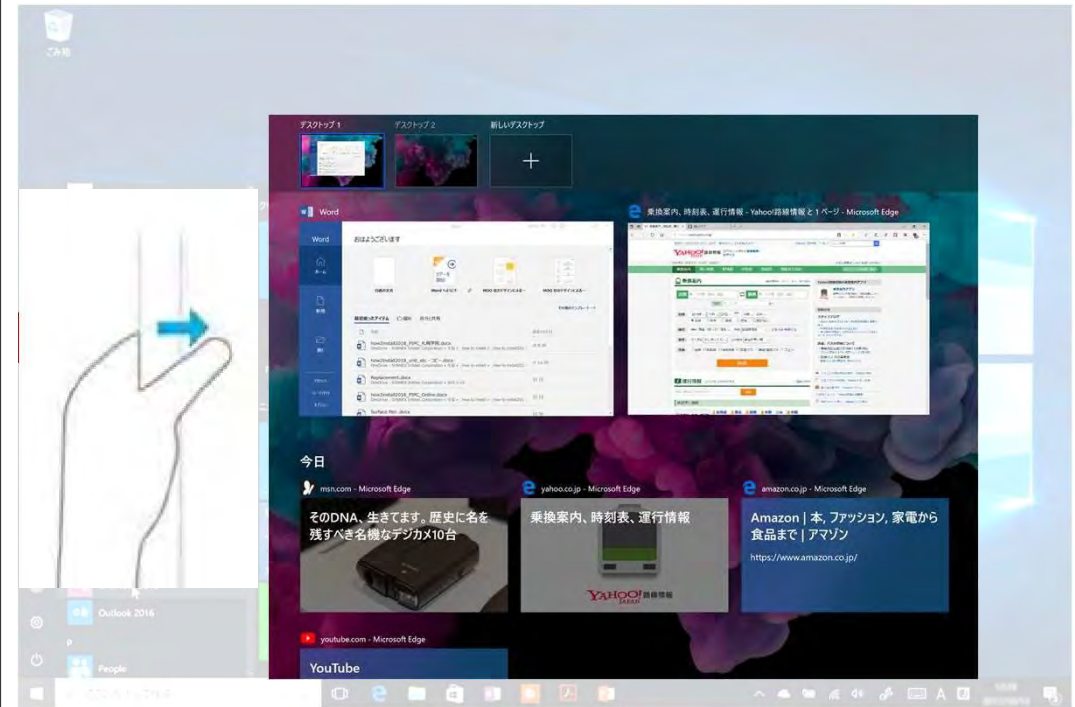


タッチ操作③

- 1 タスクビューを呼び出す
「タスクビュー」は、実行中のアプリを一覧表示する機能です。

画面左端から右へとスワイプすると、タスクビューを呼び出せます。

実行中のアプリはサムネイルで表示され、タップするとアプリが切り替えられます。

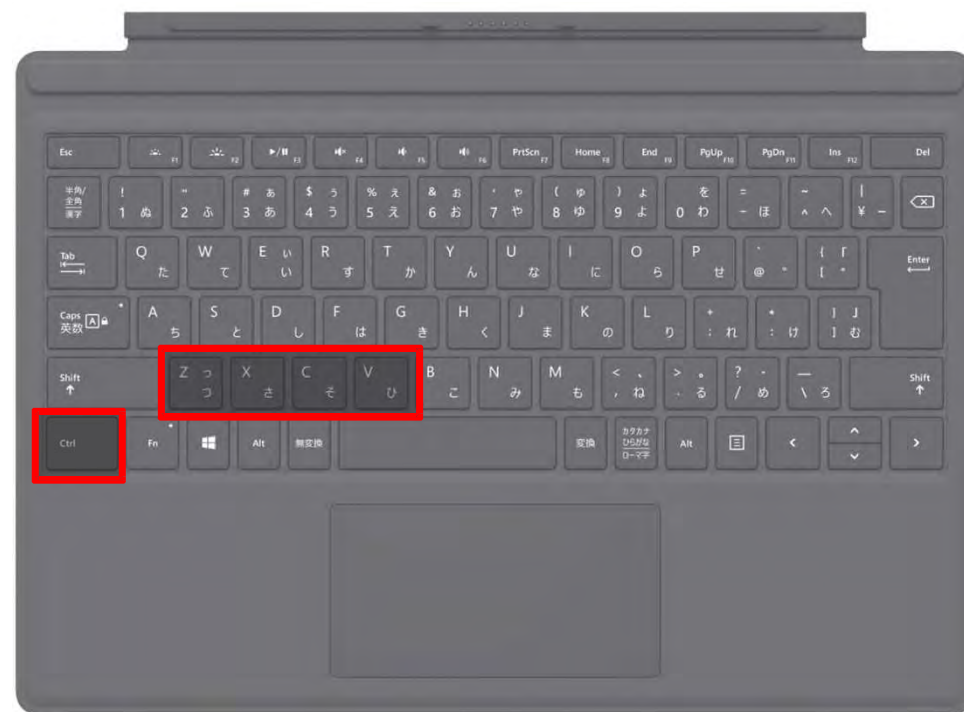


キーボードショートカット①

- 1 キーボードショートカットを利用するとPCの操作を素早く行うことができます。

[ctrl]キー+ 英字キーの同時押しで行える操作を確認しましょう。

Ctrl + X	選択した項目を切り取る
Ctrl + C	選択した項目をコピーする
Ctrl + V	選択した項目を貼り付ける
Ctrl + Z	操作を元に戻す

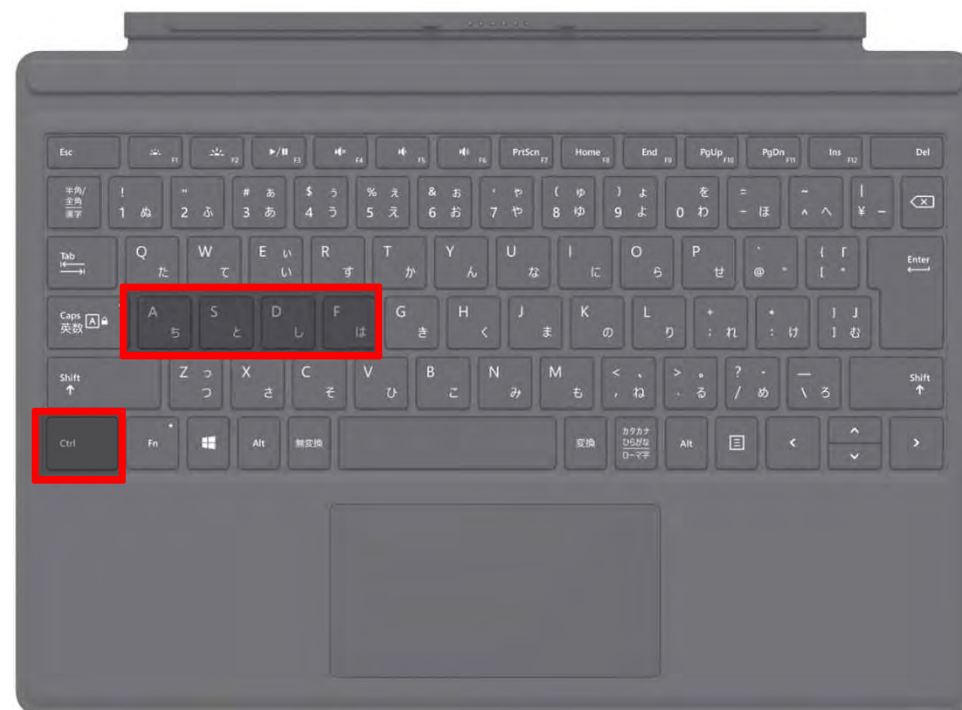


キーボードショートカット②

2 左手だけで使えるキーボード ショートカットを覚えると、カーソルをメニューに移動させずに操作を行えます。

[ctrl]キー + 英字キーの同時押しで行える操作を確認しましょう。

Ctrl + A	作業中のファイルのすべての項目を選択する
Ctrl + S	開いているファイルを保存する
Ctrl + D	選択した項目をゴミ箱に移動する
Ctrl + F	検索ウィンドウを開く



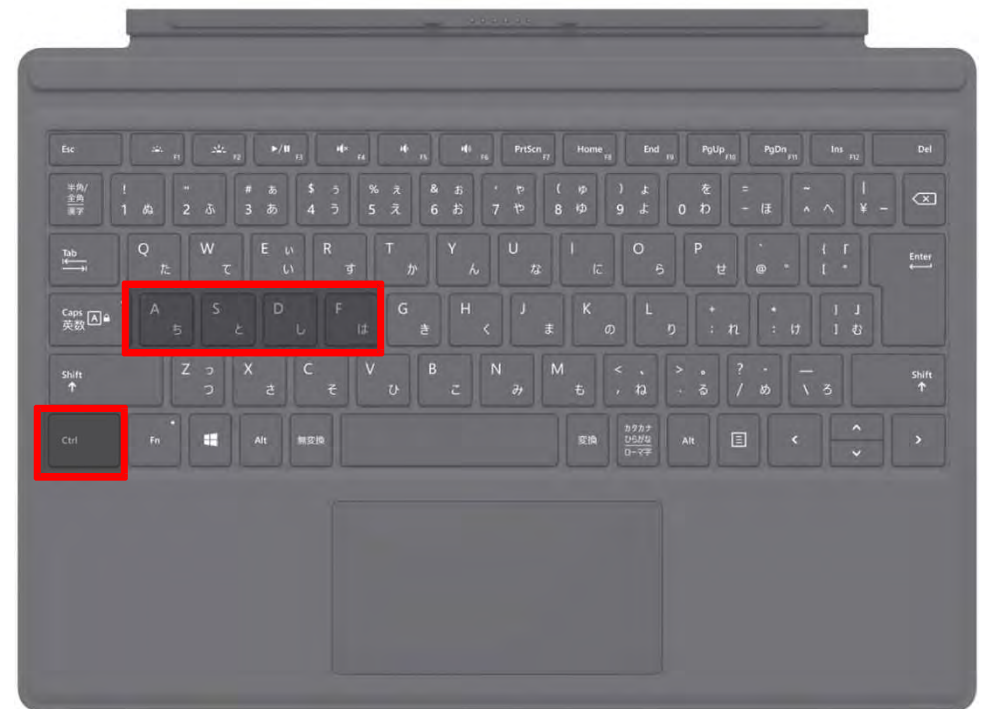
キーボードショートカット②

2

Ctrl + C = コピー

Ctrl + V = 貼り付け

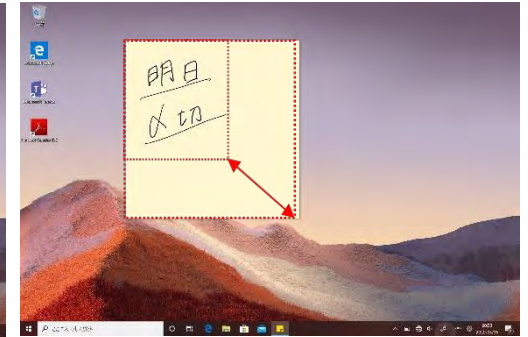
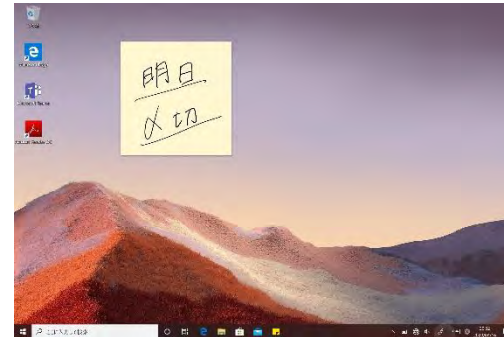
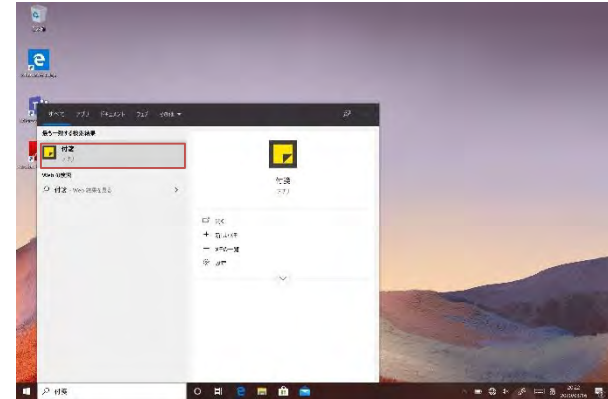
Ctrl + S = 上書き保存



付箋機能

付箋機能

- 1 「ここに入力して検索」に、「付箋」と入力。
出てきた「付箋」のアイコンをタップ。
- 2 画面上に[付箋]を貼り、
手書きメモを残せます。
また、ブラウザと同じように
付箋のふちを持って大きくしたり、
小さくすることもできます。



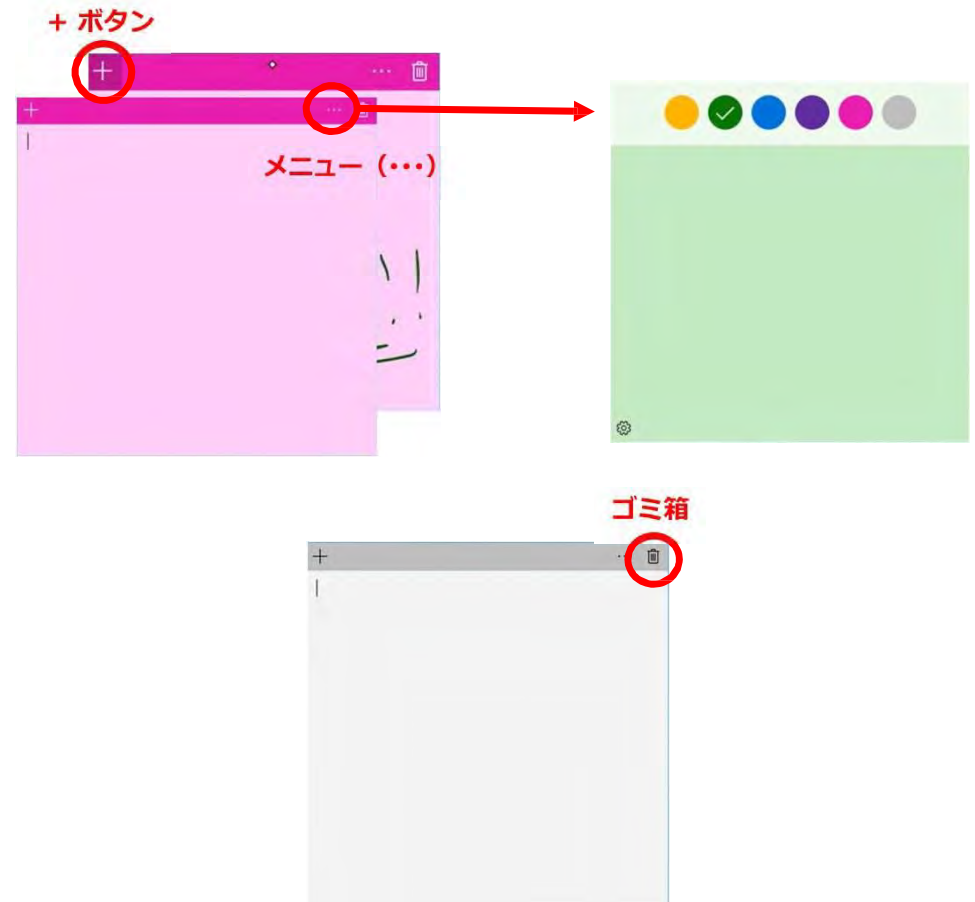
付箋機能

付箋機能

- 3 左上の + をタップすれば
[付箋]を増やすことも出来ます。

右上のメニュー（…）をタップすれば
種類毎に色を変更もできます。

- 4 不要になった[付箋]は
右上のゴミ箱をタップすると削除できます。



4096 levels of pressure

Windows Ink ワークスペース



Windows Ink ワークスペース

Windows Ink ワークスペースについて

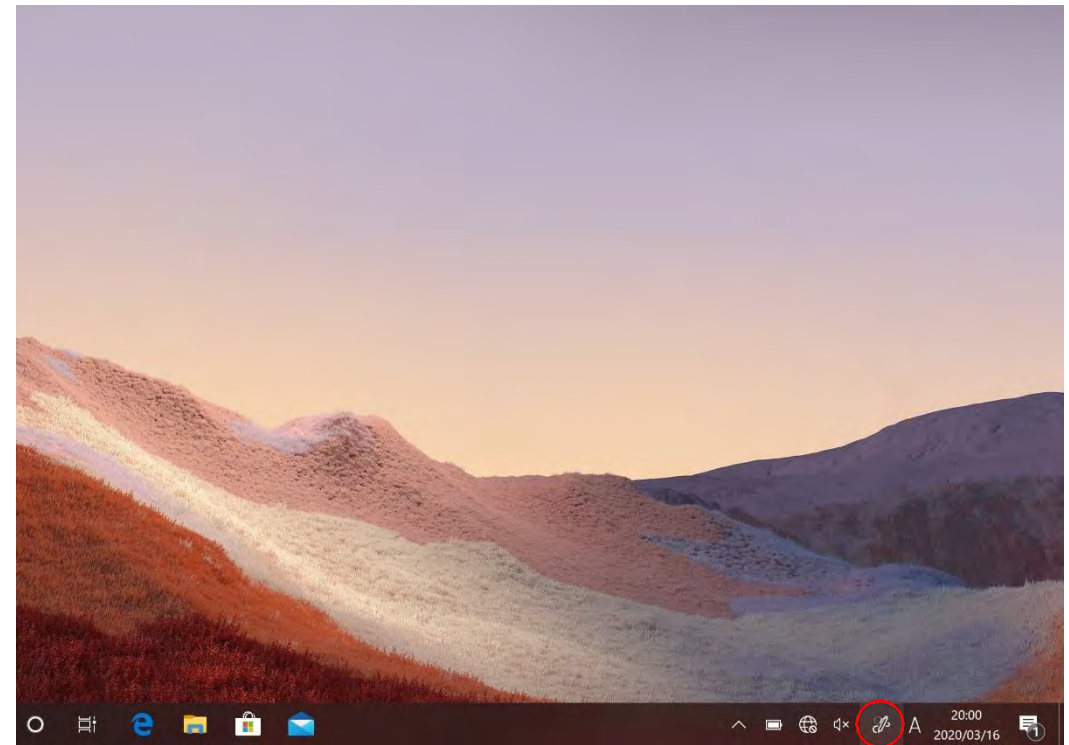
- 1 Windows Ink はタッチパネル搭載のパソコンで手書きの文字や絵を描くことができる機能です。手書き入力の際、タッチパネルに手が触れてもSurface ペンのみを感知するのでとても書きやすくなっています。
- 2 Surface ペンの上部（トップボタン）が消しゴムになっているので、アナログ感覚で書いたり消したりすることができます。



Windows Ink ワークスペース

Windows Ink ワークスペースについて

- 3 ペンによる手書き入力に対応した便利なアプリケーションを呼び出せる
[Windows Ink ワークスペース]
という機能があります。
タスクバーのペンのマークをタップすると
[Windows Ink ワークスペース]が起動します。

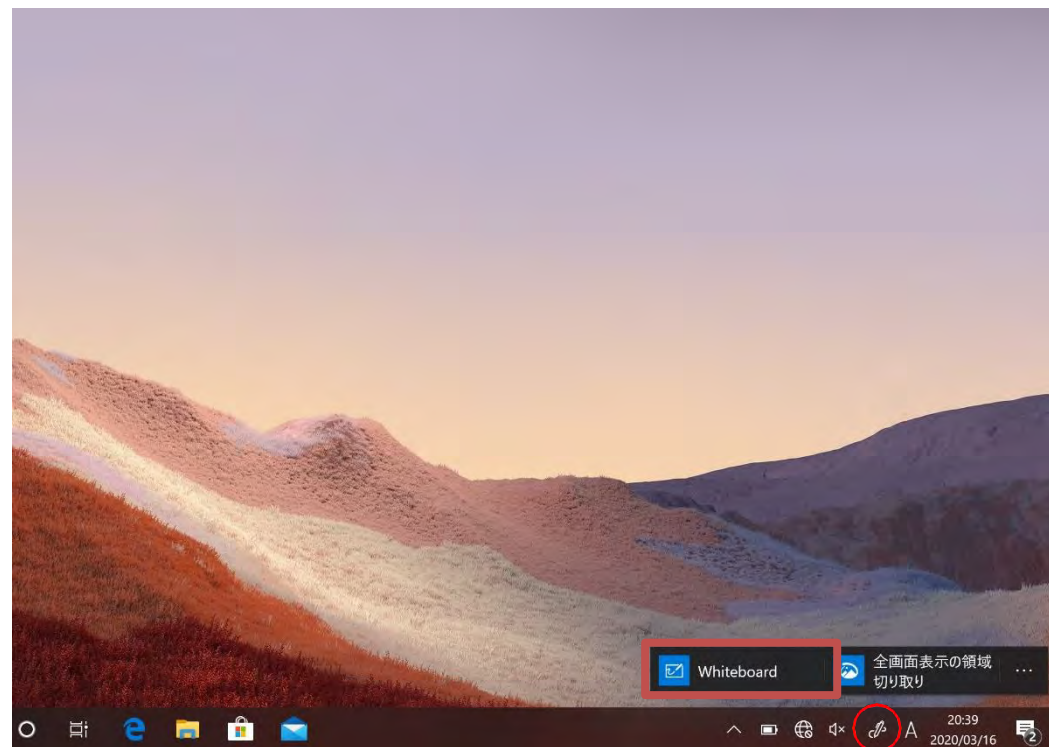


ペンマーク

Whiteboard

スケッチパッド

- 1 画面右下、タスクバーのペンマークをタップ。
次に表示されたウィンドウの
[Whiteboard]をタップ。



ペンマーク

Whiteboard

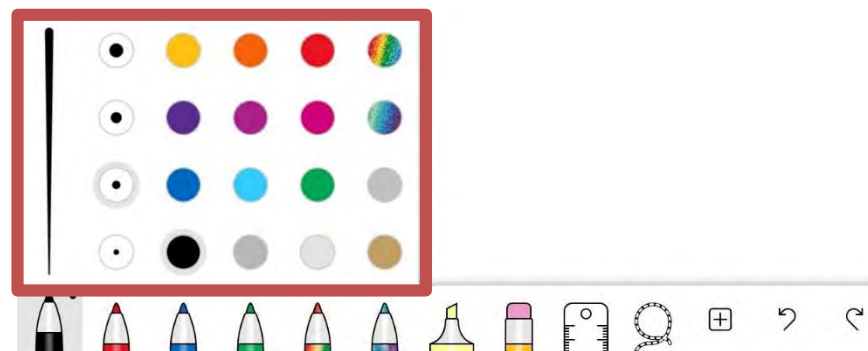
ペン種類の選択

- 2 Whiteboardを立ち上げると、画面下に図①のようなバーが表示されます。ペン先のアイコンをタップすると、そのペン先の色、太さで描くことができます。
- 3 ペン先のアイコンを2回タップすると、図②のように色や文字の太さを変えることができます。

図①



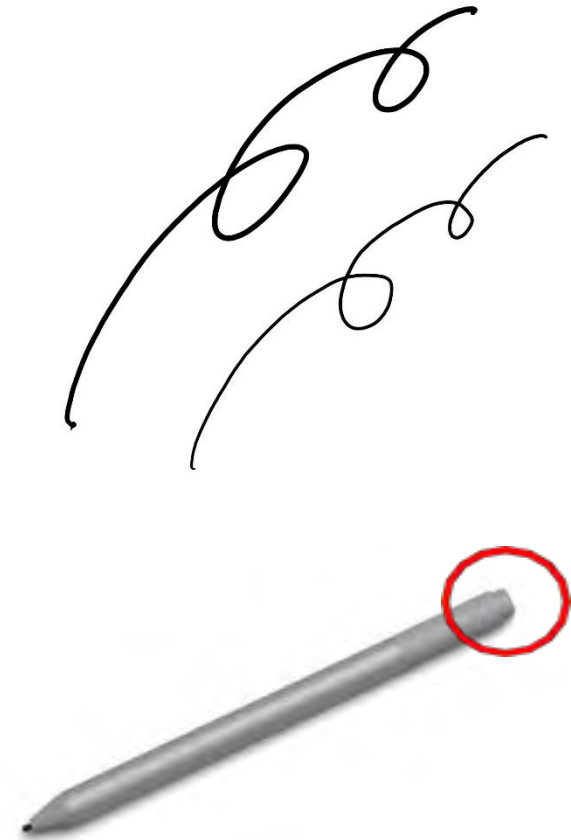
図②



スケッチパッド

筆圧の調整

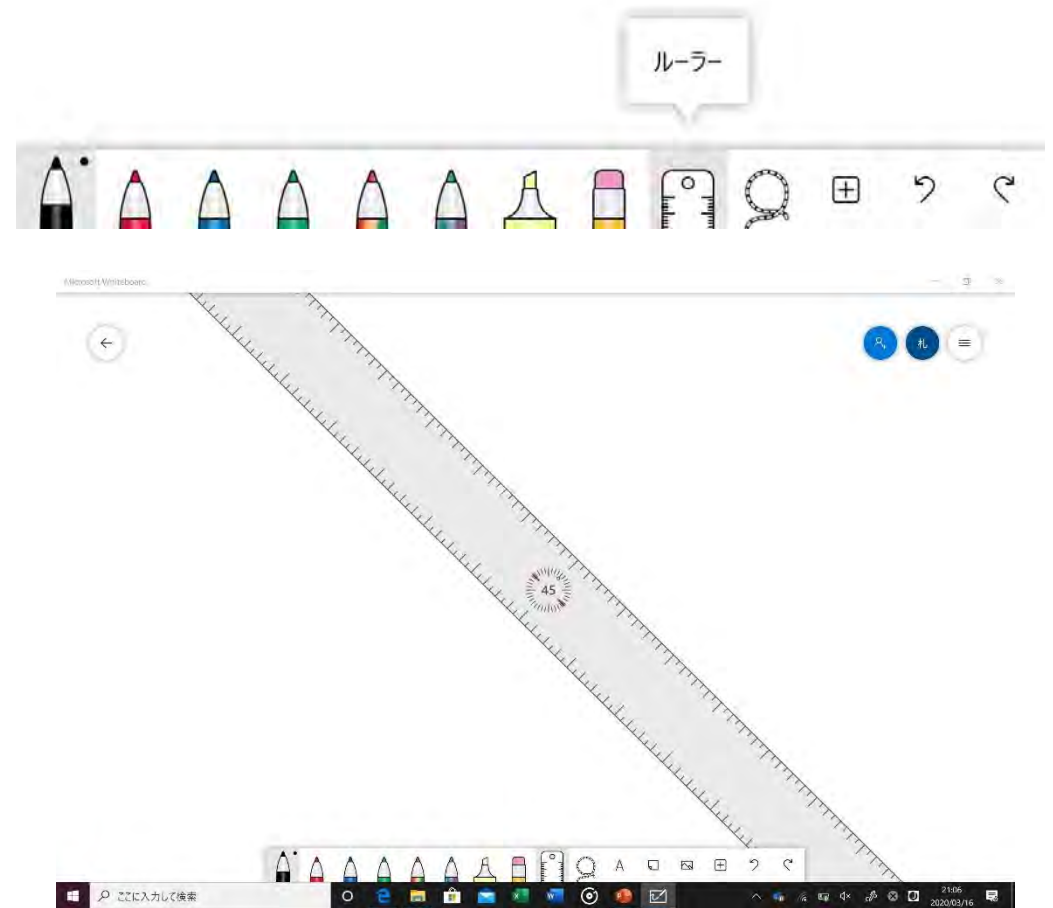
- 4 普通の鉛筆と同じように、筆圧を弱く書くと薄く、強くすると濃く書く事ができます。
- 5 Surfaceペンの頭の部分が消しゴムの機能を担っています。消したい線や文字がある際は活用してみてください。



Whiteboard

定規

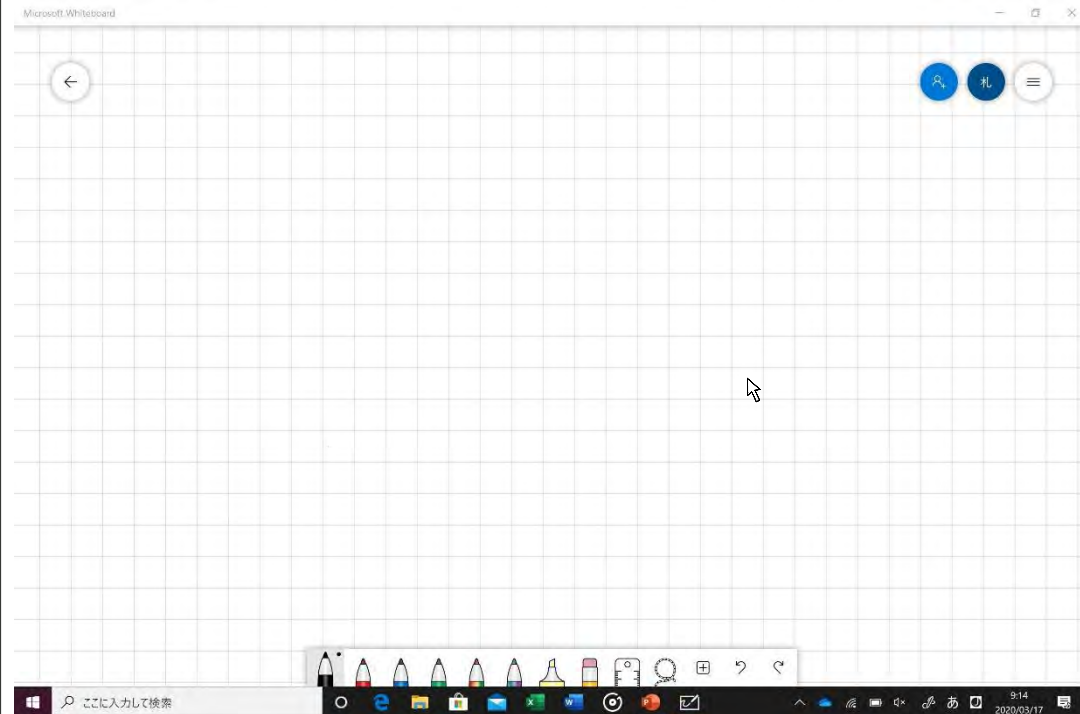
- 6 続いて、[定規]を使ってみましょう。
画面下のバーから[ルーラー]をタップすると、
画面上に[定規]が現れます。
- 7 [定規]は指二本で動かすことができ、
指を離せば固定されます。
移動したり角度を変えたり自由自在です。
まっすぐな線を引くのに便利です。



Whiteboard

罫線

- 6 画面の余白にカーソルを合わせて、タッチパッドの左下またはマウスの左クリックを長押しすると、罫線が表示されます。

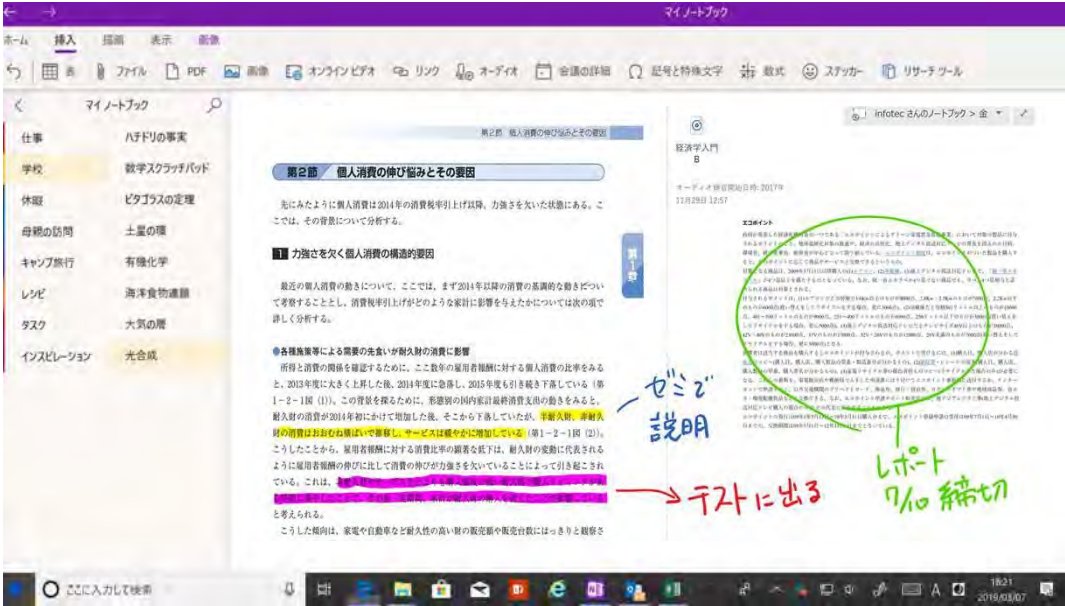


OneNote

OneNote の使い方

OneNote について

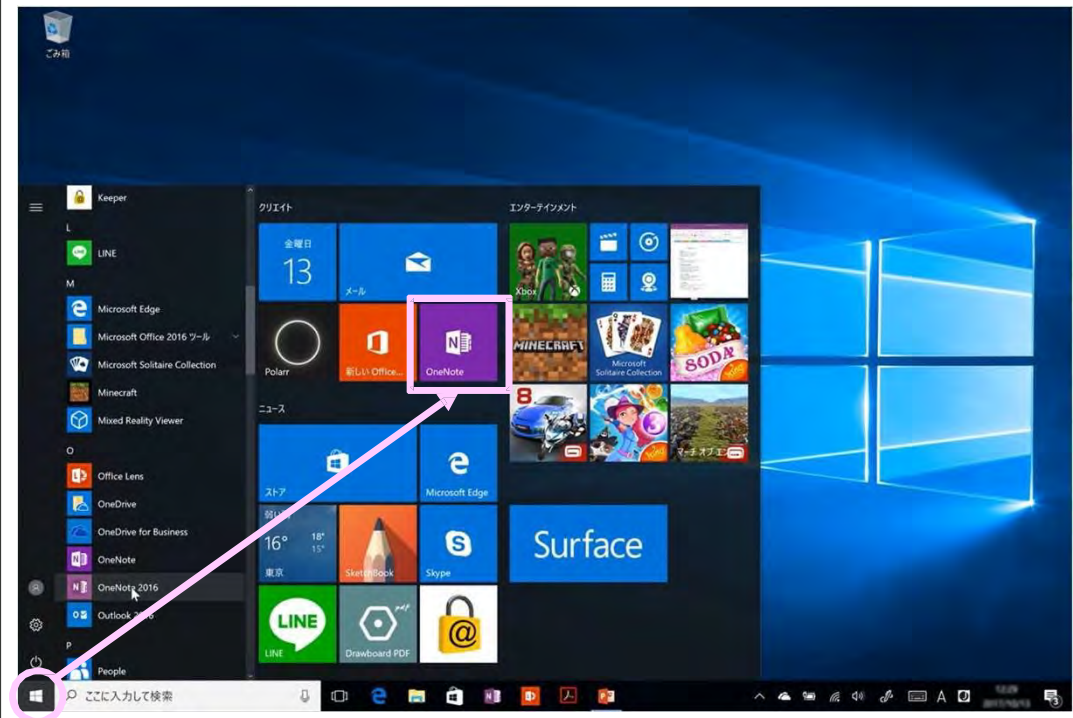
OneNote は一言で言うとデジタルノートです。
情報を一元管理できるので、
何冊もノートを持ち歩く必要はありません。



OneNote の使い方

OneNote の起動

- 1 デスクトップ左下の[スタート]から
[OneNote]を選択し起動しましょう。



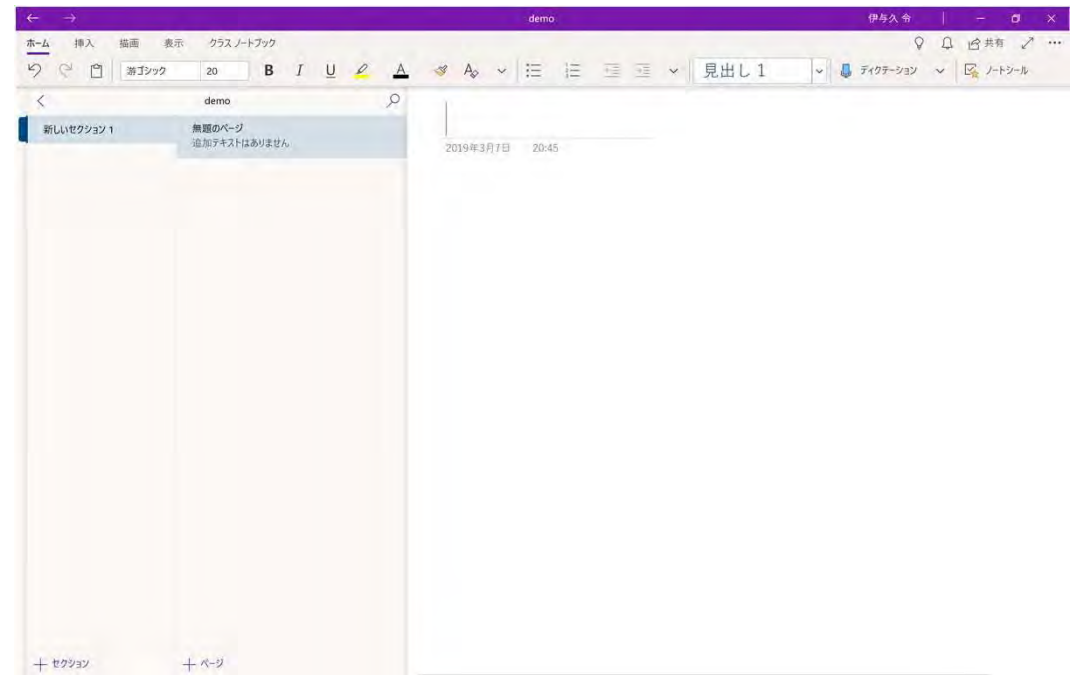
OneNote の使い方

OneNote について

- 1 「ここにはページがありません。」をクリックすると最初のページが作成されます。

ここにはページがありません。

ページを作成してノートを作成しましょう。



OneNote の使い方

OneNote について

OneNote は
ルーズリーフを綴じたバインダーのように

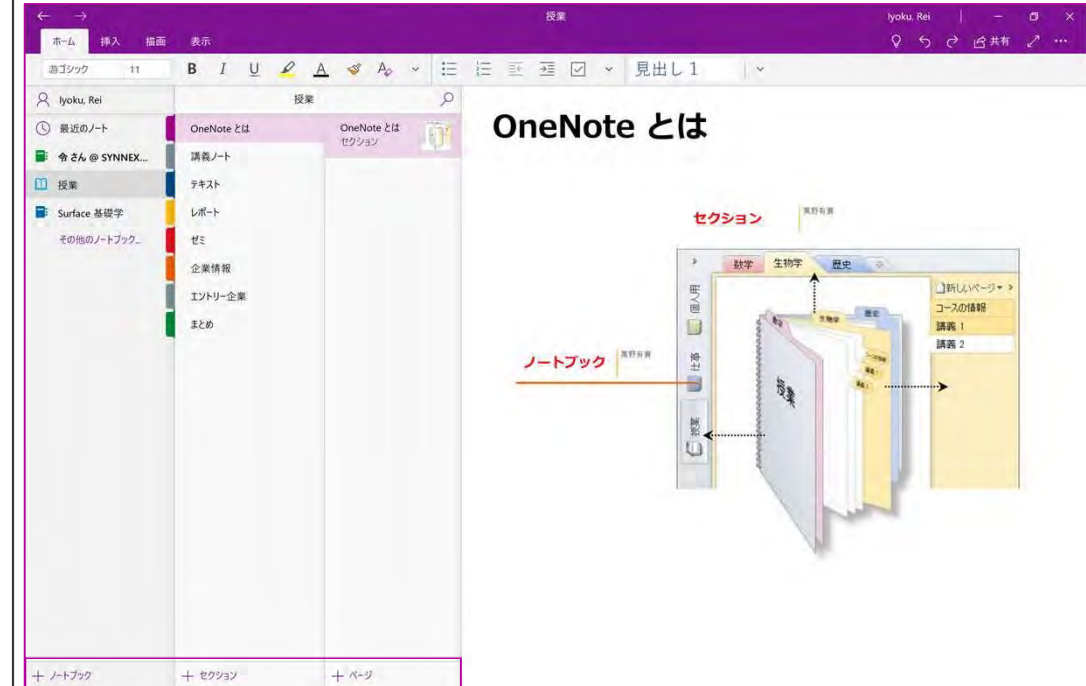
- ・ 1冊の「ノートブック」
- ・ カテゴリーを分ける「セクション」
- ・ ルーズリーフ1枚に相当する「ページ」

で構成されます。

+ ノートブック + セクション + ページ

- ・ 1講義ごとにページを作りノートをとる
- ・ 講義・サークルでノートを使い分ける

のように利用できます。

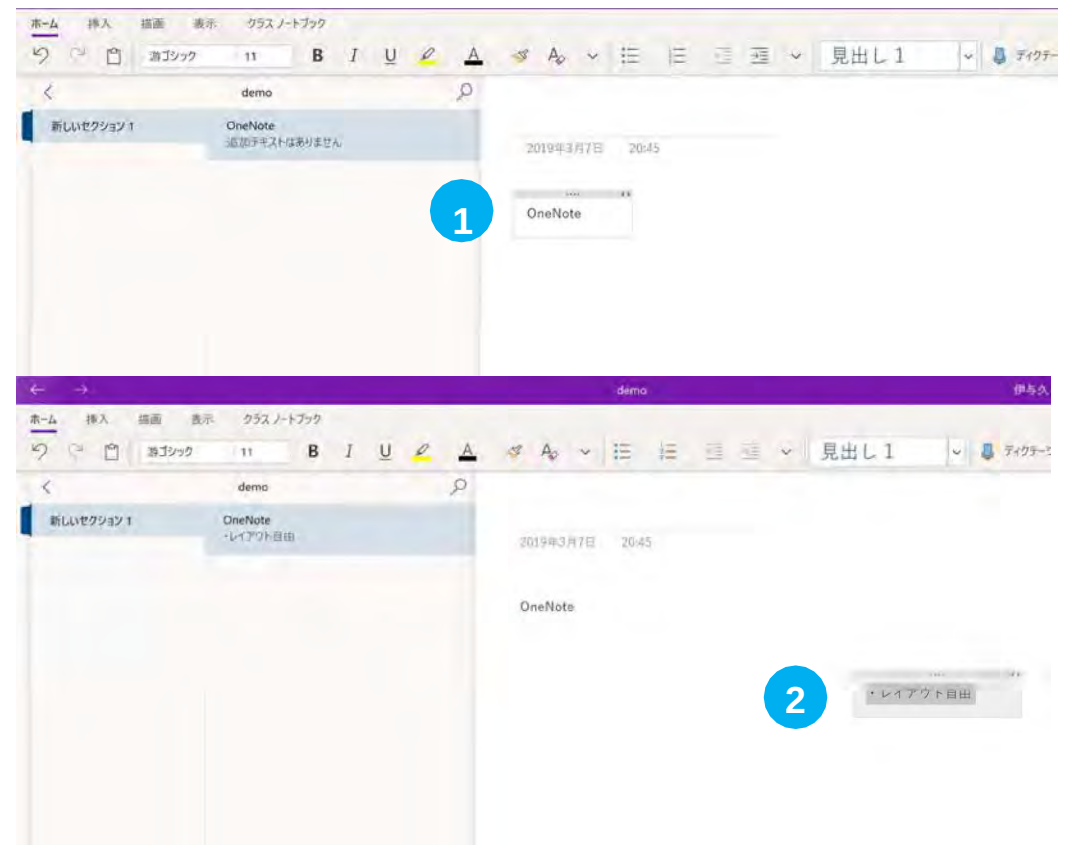


キーボード入力

手書き入力

OneNote のノート上ではさまざまな入力が可能です。
まずはキーボードで文字を入力してみましょう。

- 1 白紙ページの好きなところを選択するとカーソルが表示されます。
何か文字を入力してみてください。
- 2 入力出来たら、ページの別の位置を選択してまた文字を入力してみましょう。



キーボード

キーボード入力

手書き入力

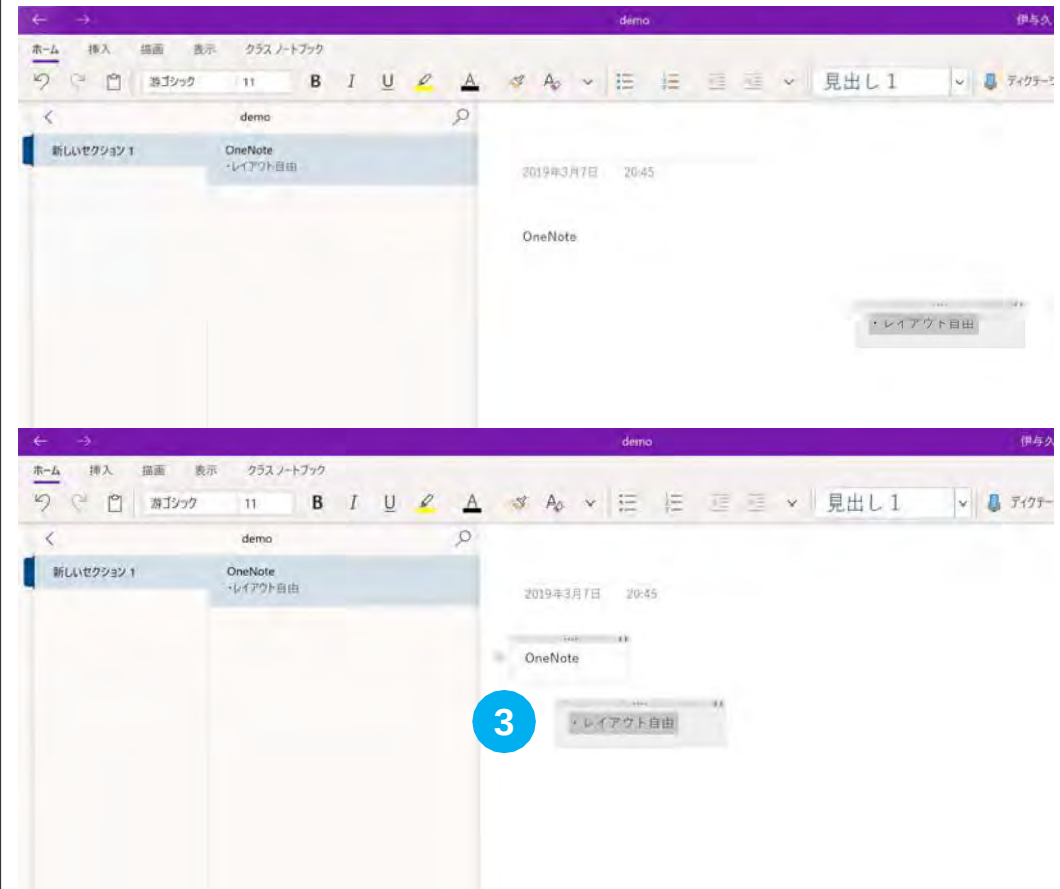
- 3 入力した文字はテキストボックスとなり、ドラッグで好きな位置に移動できます。

メモ帳アプリや Word では

無題 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
一番上から入力し、改行しながら
下に入力していきますが

OneNote ではいつでもレイアウトを変えたり、
サイズを調整することができます。



フリック入力

フリック入力

Surface はタッチでもテキスト入力可能です。
デスクトップ右下の[キーボードアイコン]をタップ。

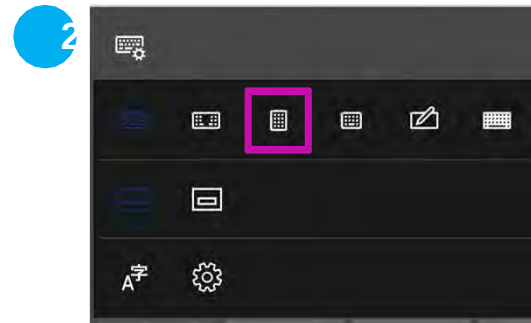
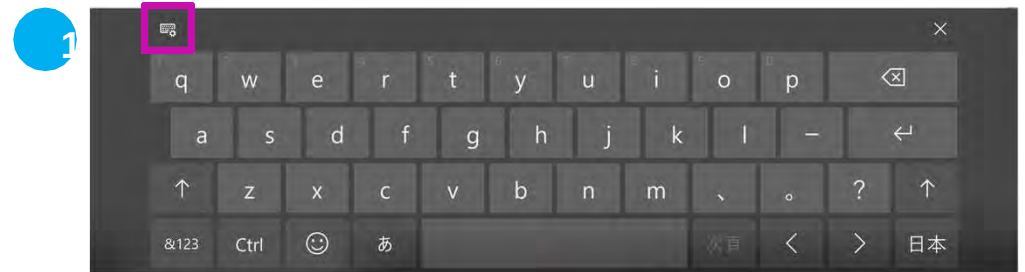


1 タッチキーボードが表示されたら、
左上の設定アイコンをタップ。

2 縦長のアイコンをタップ。

スマートフォンのようなフリック配列に

3 切り替わります。

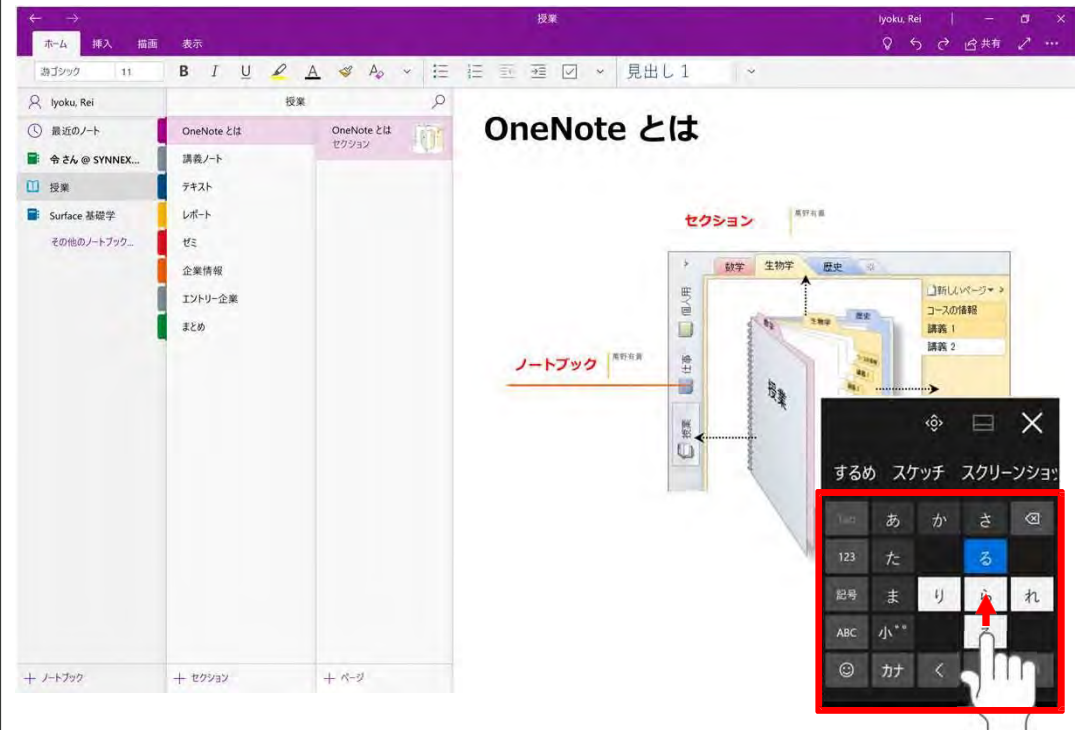


フリック入力

フリック入力

4 これでフリック入力の設定になりました。

キーボードやペンの出せないときや
タブレットとして縦位置での利用中でも
タッチでタイプすることができます。



ペン入力

ノートへの書き込み

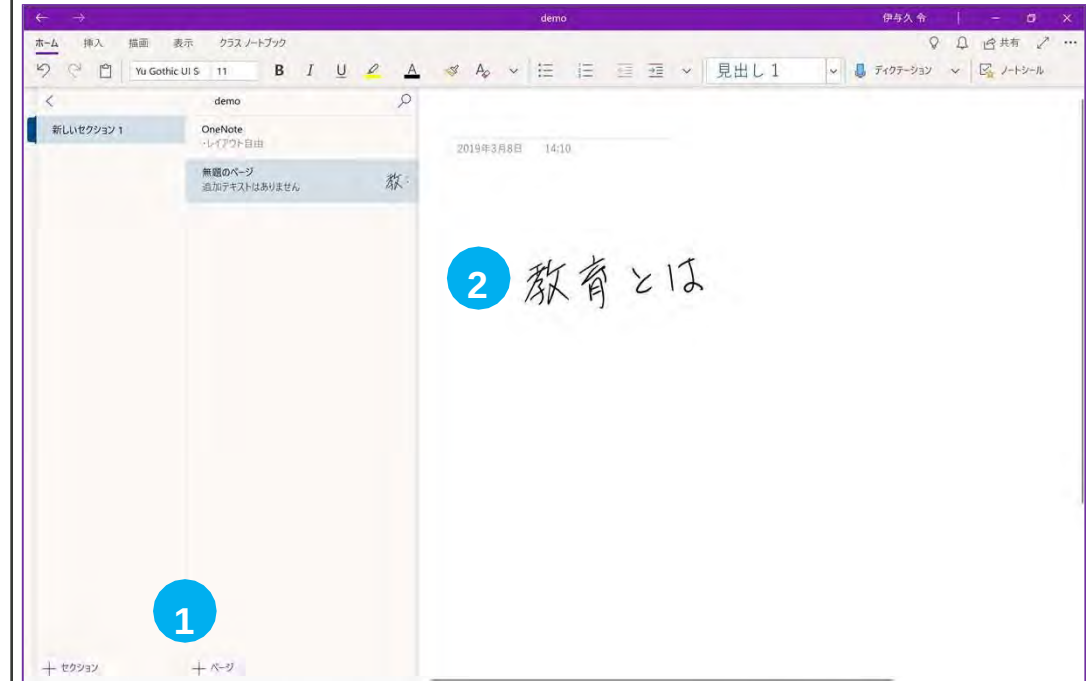
早速書いてみましょう。

1 左下 **+ ページ** ボタンを押して
新規ページを作成します。

2 Surface ペンを使って好きなところに
文字を書いてみましょう。



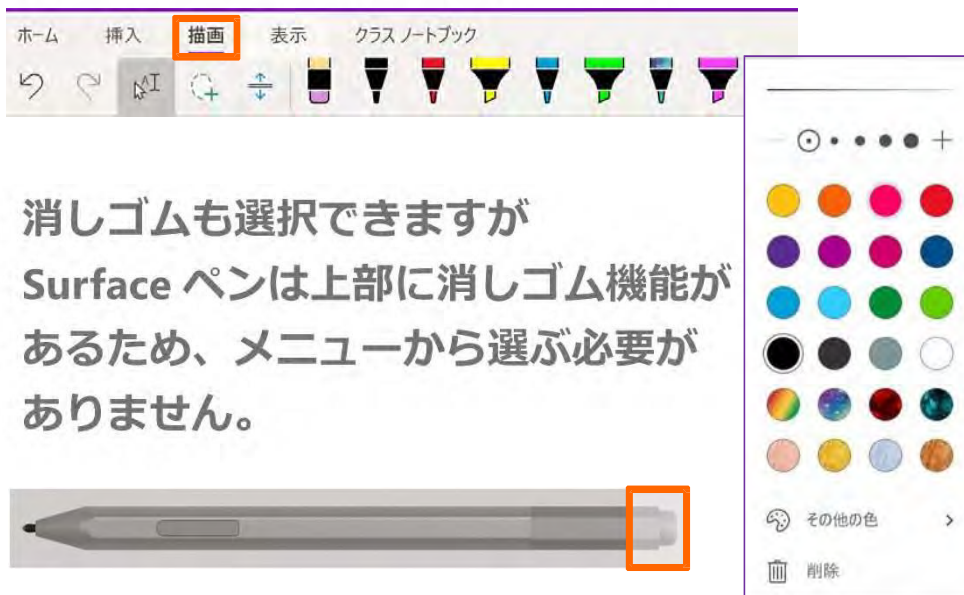
紙のノートのように書き込むことができます。



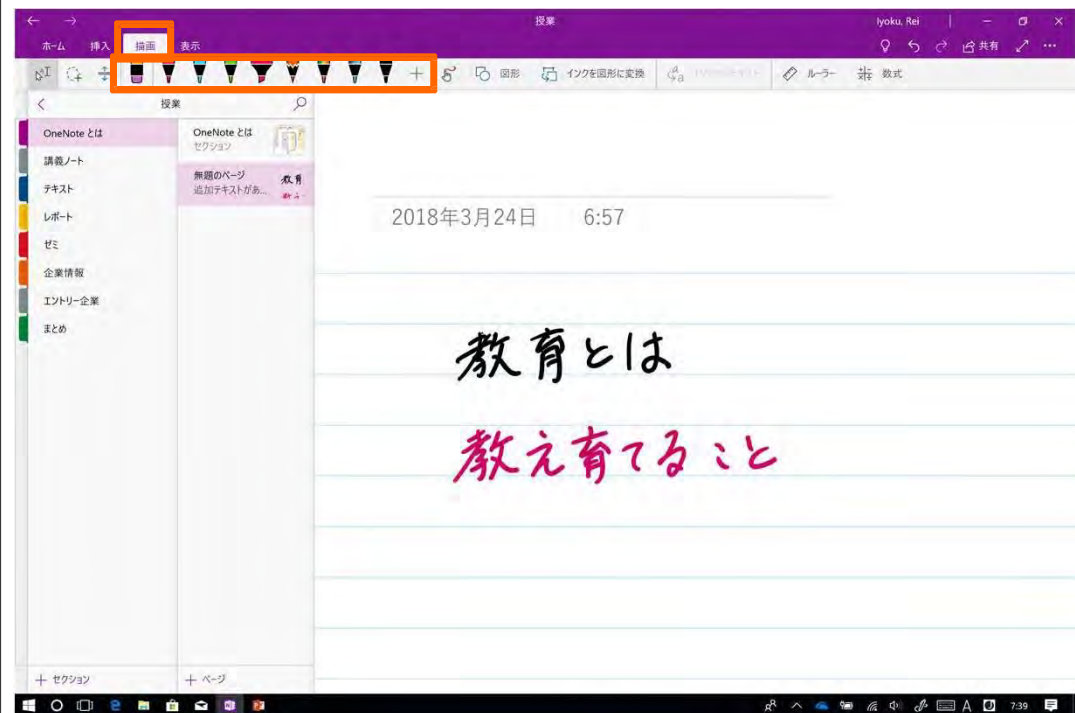
罫線とマス目

描画 / 色と太さ

- 3 ウィンドウ上部の[描画]タブからペンを選択し色と太さを変えることができます。



消しゴムも選択できますが
Surface ペンは上部に消しゴム機能があるため、メニューから選ぶ必要がありません。

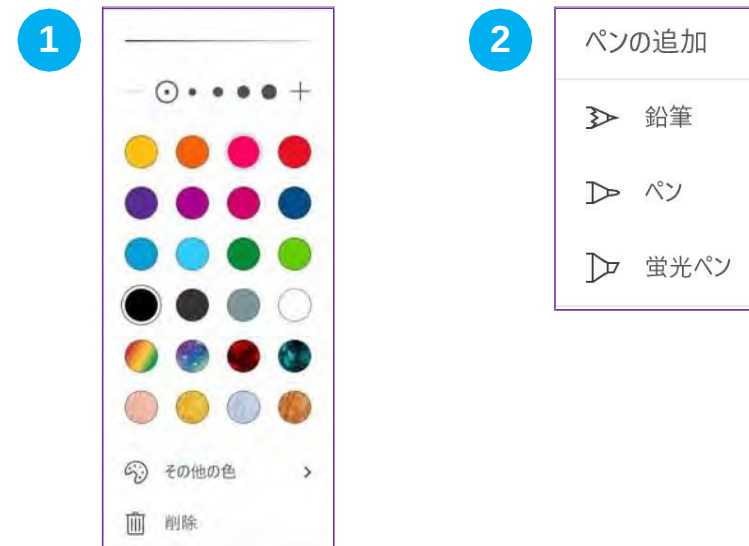
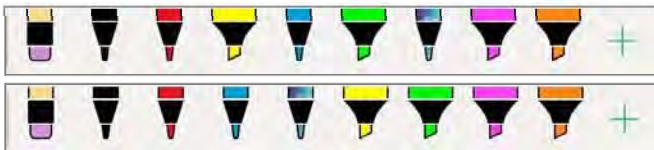


One Note の描画タブその1

ペンの選択

[描画]タブではインク機能の設定が可能です。

- 1 ペンの太さと色を変更できます。
- 2 ペンは[+]ボタンで追加できます。
好みの太さ/色のペンを追加しておくと便利です。
- 3 ペンをドラッグして並び順を変更できます。



罫線とマス目

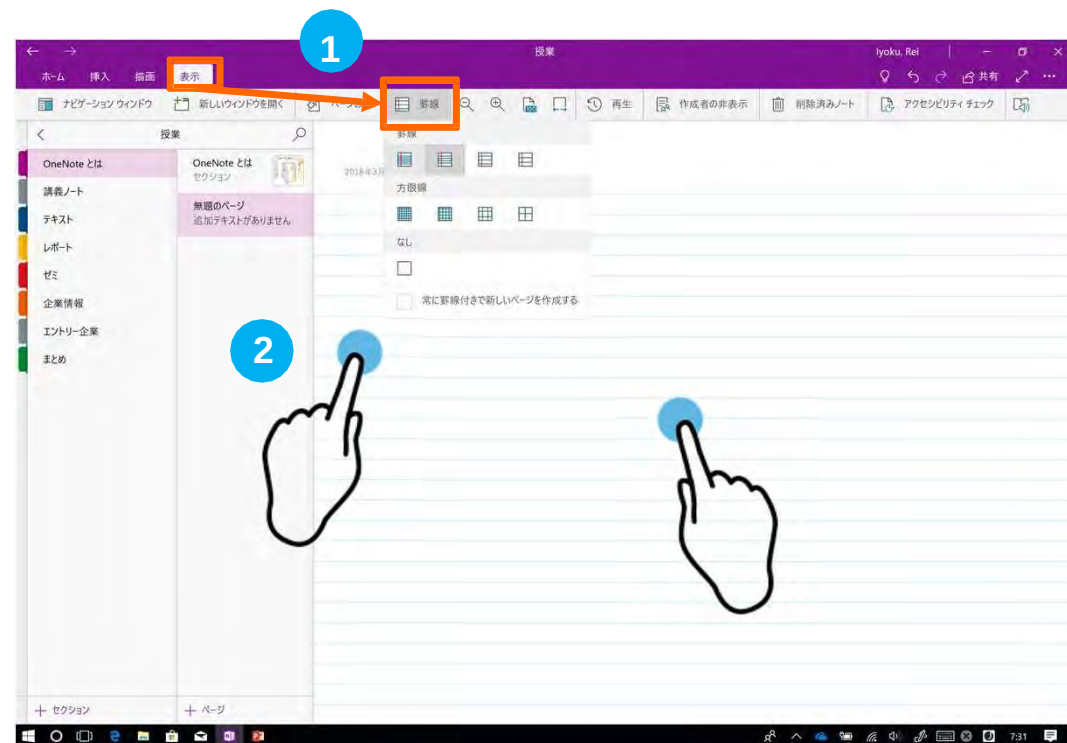
罫線の表示

ガイドがないとノートが取り辛い！
そんなときは罫線を表示しましょう。

- 1 [表示]タブから[罫線]を選択し、メニューから一番左の罫線を選択します。



- 2 小さな字を書くときはピンチで拡大できます。
画面上・タッチパッドどちらでも操作可能です。



罫線とマス目

マス目の表示

罫線だけでなく、マス目もあるので
用途によって使い分けることができます。

3

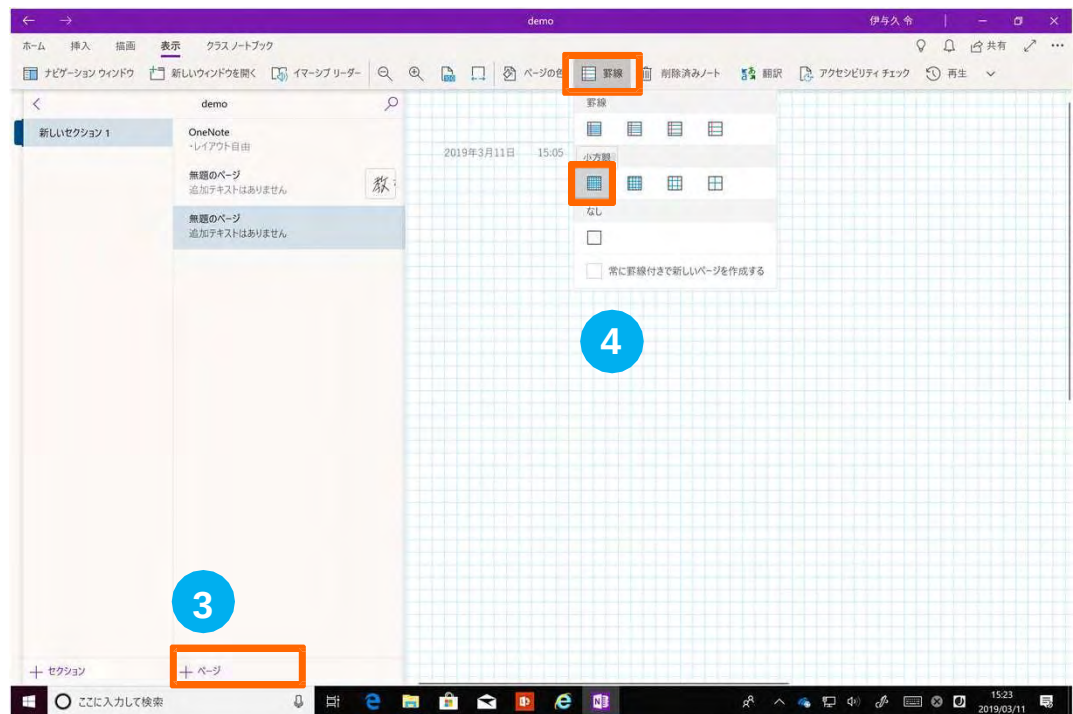
+ ページ

ボタンで新規ページを作成します。

4



[表示]タブの
[罫線]メニューを開き、
一番左のマス目を
選んでみましょう。

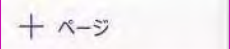


罫線とマス目

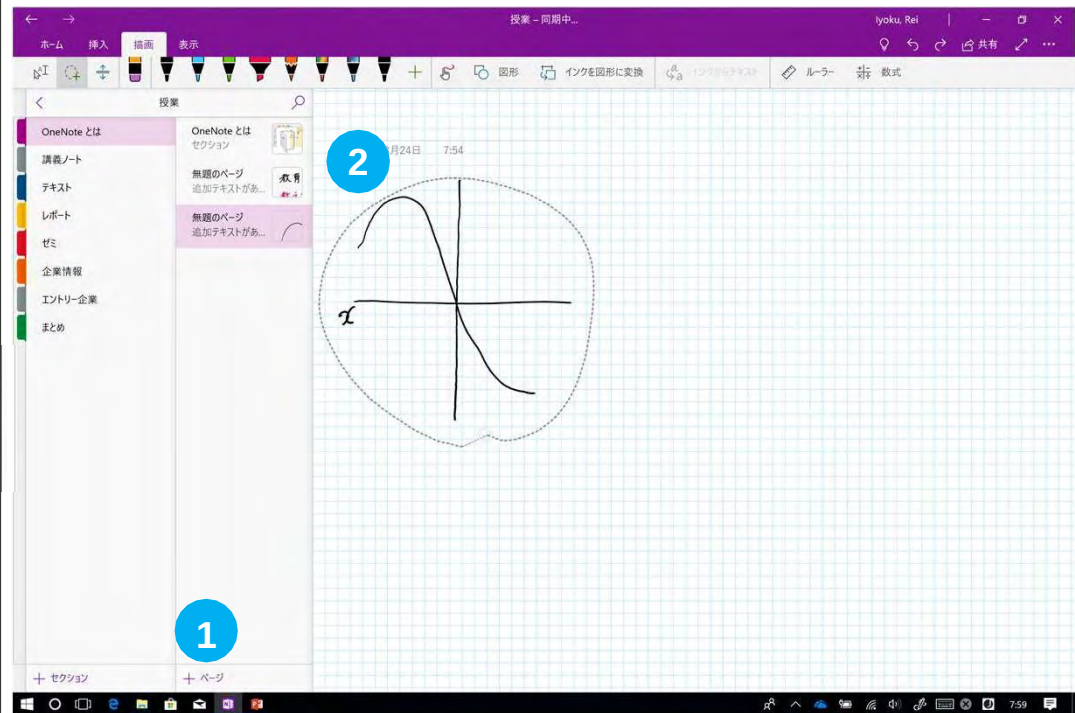
図形のコピー

マス目表示は図形を描くときに便利です。

同じ図形が複数必要な時は
Surface ペンを使うことでコピーできます。

1  ボタンで新規ページを作成します。

2 ペンの[右クリックボタン]を押したまま
図形の外側をぐるっと囲うことで範囲選択します。



罫線とマス目

図形のコピー

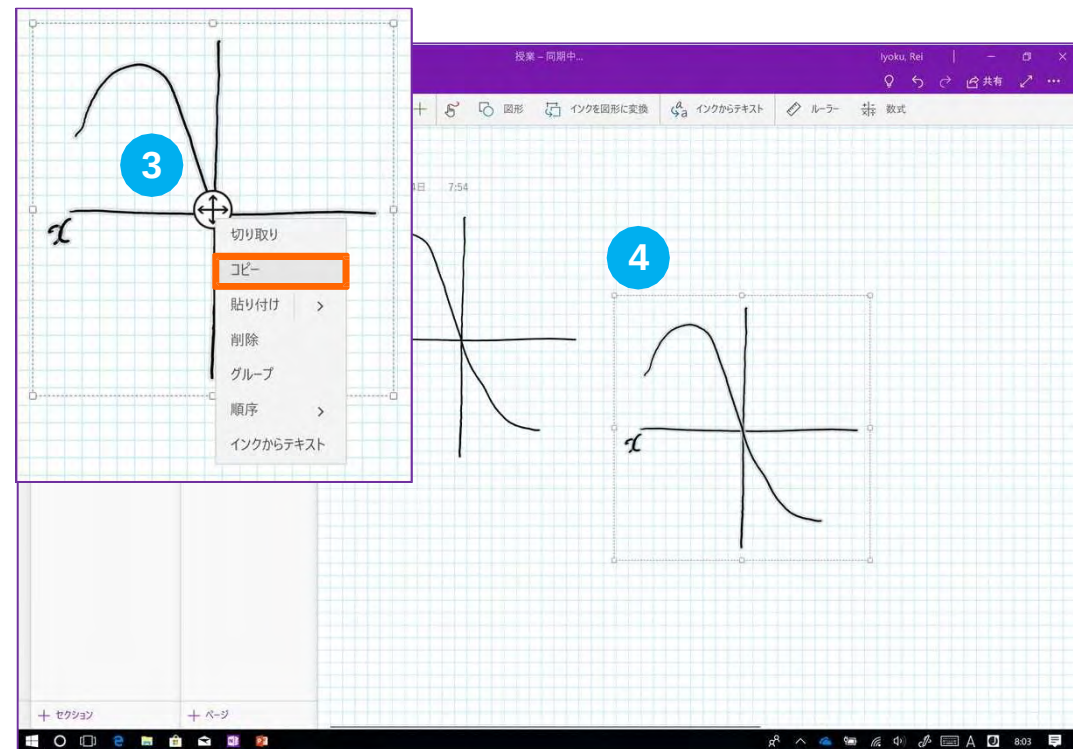
- 3 図形中央に $\oplus$ アイコンが表示されます。アイコンを指でタップして、メニューから[コピー]を選択します。



- 4 ページの貼り付けたい位置を長押しタップしメニューから[貼り付け]を選択すると、



同じ図形をかんたんに複製できます。
この範囲選択を[なげなわ機能]と呼びます。



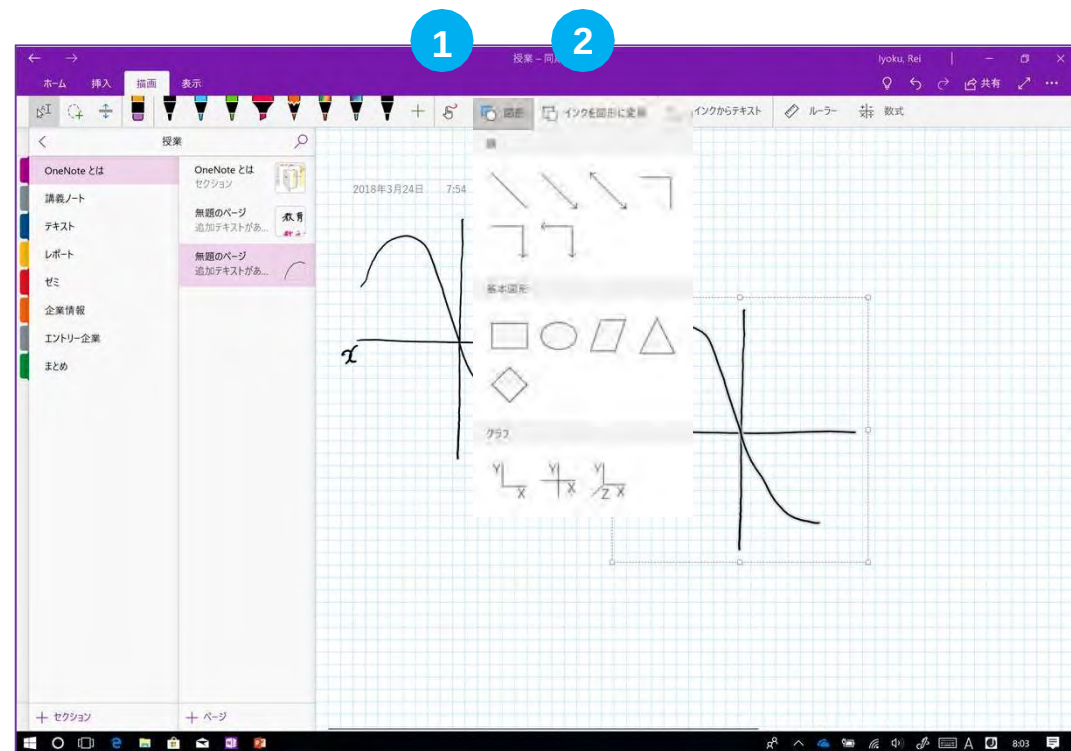
罫線とマス目

インク→図形

1 [描画]タブの[図形]メニューから図形を選択し挿入できます。

2 [インクを図形に変換]を押すと、図形の自動変換がオンになります。

○・△・□など図形を描いてみましょう。



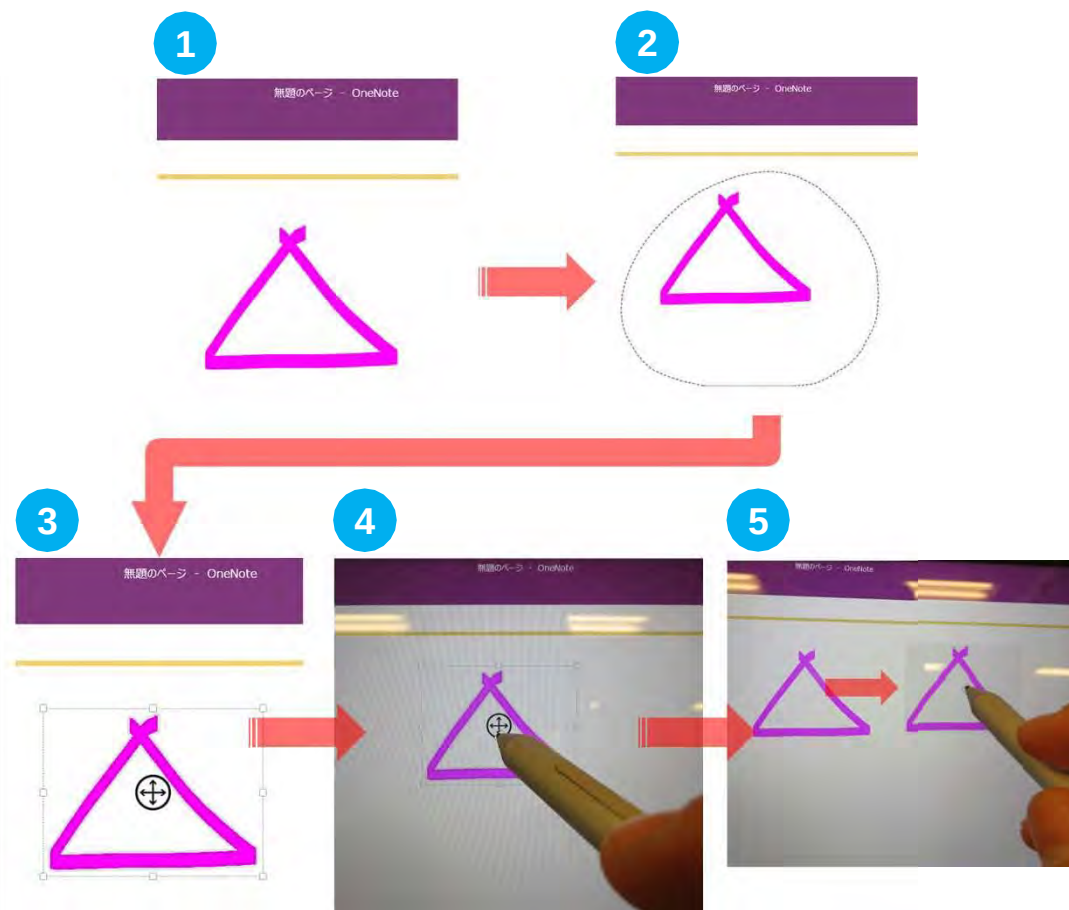
投げなわ機能について

選択→移動

- 1 ペンで図形や文字を書きます。
- 2 ペンの右クリックボタンを押しながら、対象をぐるっと囲みます。



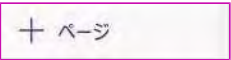
- 3 選択中の図形中央に $\oplus$ アイコンが表示されます。
- 4 $\oplus$ をペン先・指でドラッグすると、
- 5 図を移動することができます。



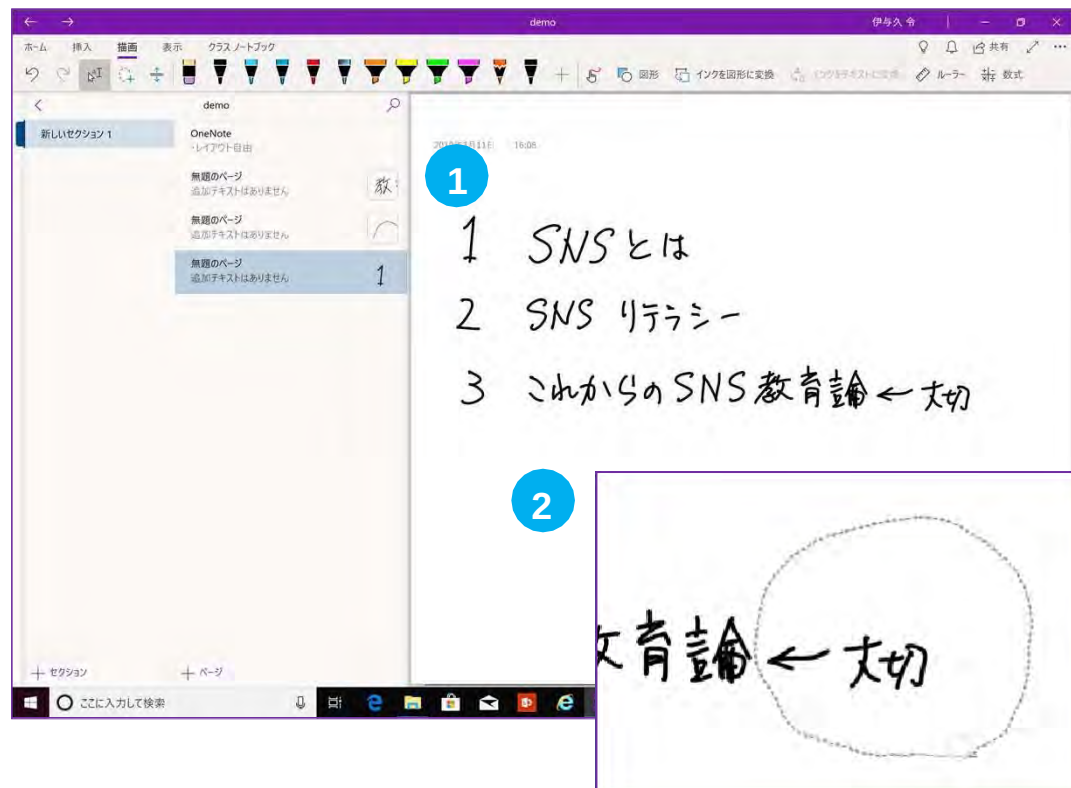
OneNote に書く

文字色を変更

OneNoteでは書いた文字の色・サイズを
あとから変更可能です。

1  ボタンで新規ページを作成します。
何か文字を書いてみましょう。

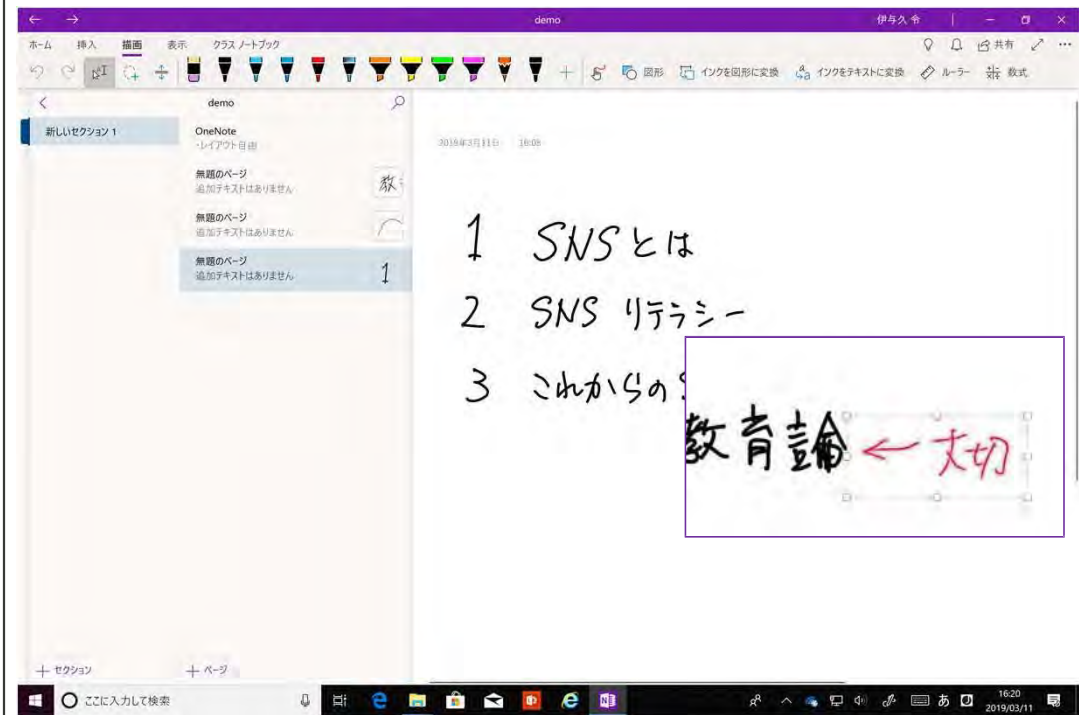
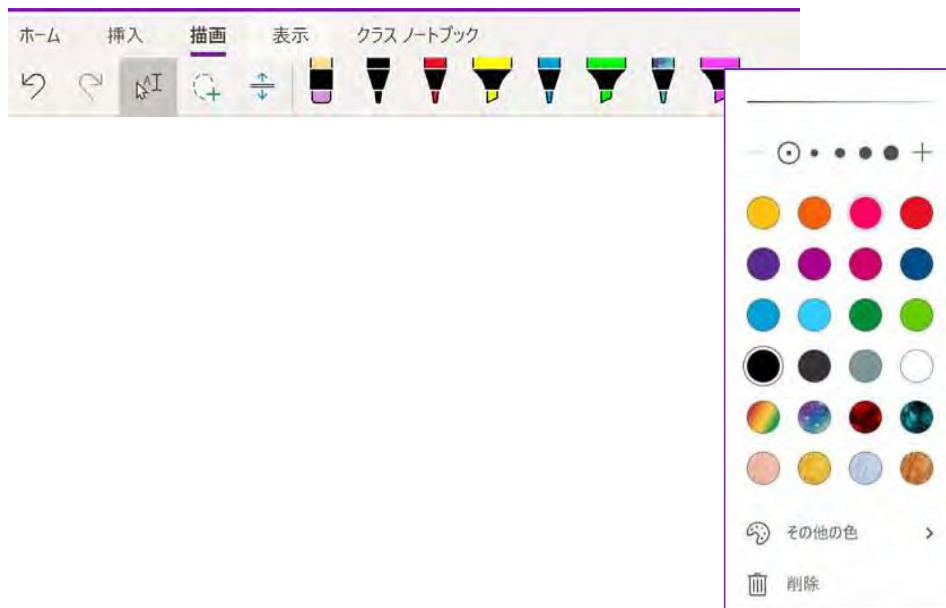
2 [右クリックボタン]を押しながら
色を変えたい単語をぐるっと囲んで範囲選択。



OneNote に書く

文字色を変更

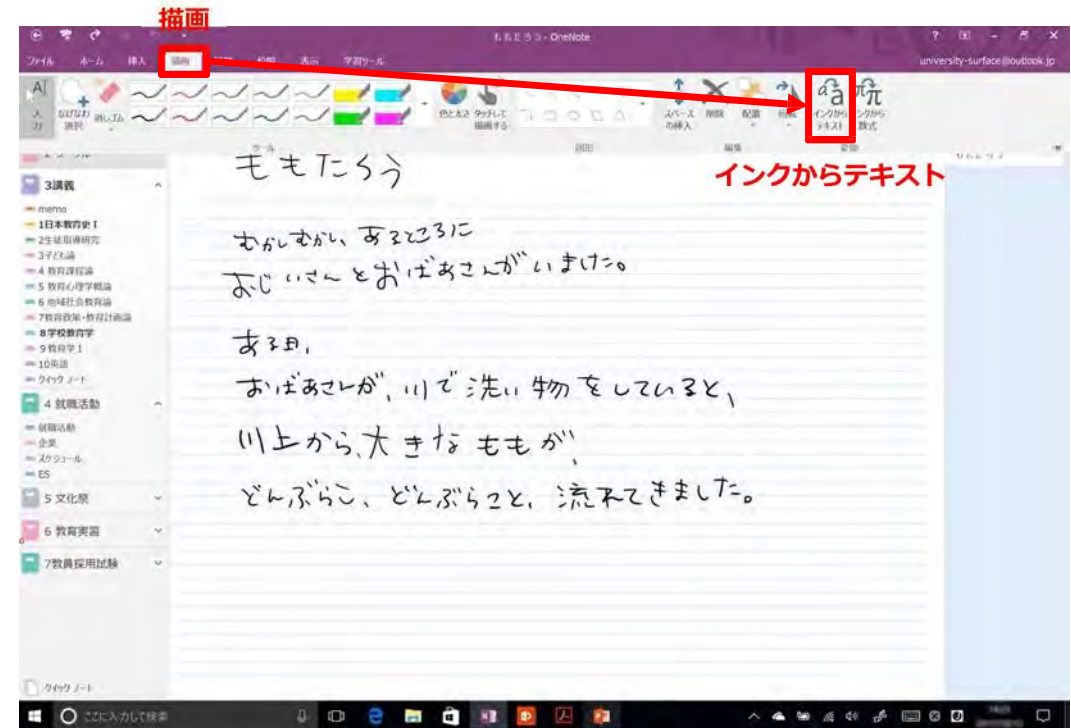
- 3 左上の[描画]タブのメニューから、目的の色のペンを選択して変更できます。



インクからテキストに変換

テキストに変換

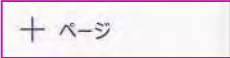
- 1 この機能はかなり優秀で、走り書きの文字もテキストに変換することが出来ます。
[描画]タブの[インクからテキスト]を選択。

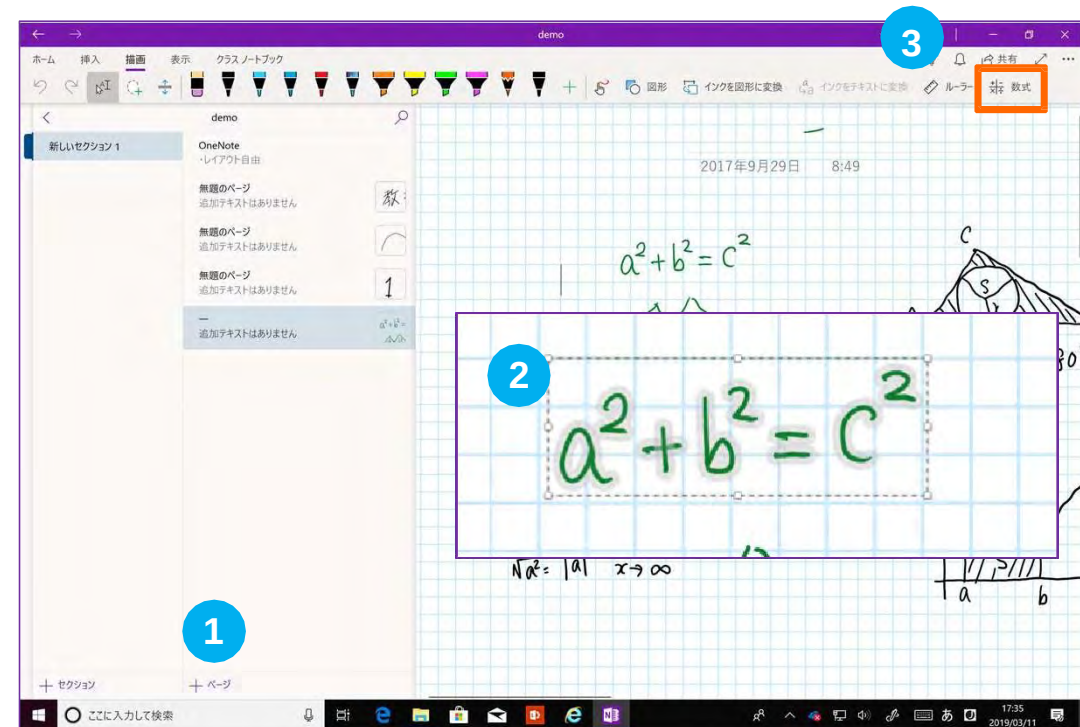


インクから数式

インクから数式

2乗、平方根など入力に時間がかかる数式はペンで書いて変換できます。

- 1  ボタンで新規ページを作成します。
試しに簡単な数式を書いてみましょう。
- 2 書いた方程式をなげなわで選択状態にします。
- 3 [描画]タブの右端にある[数式]を選択。

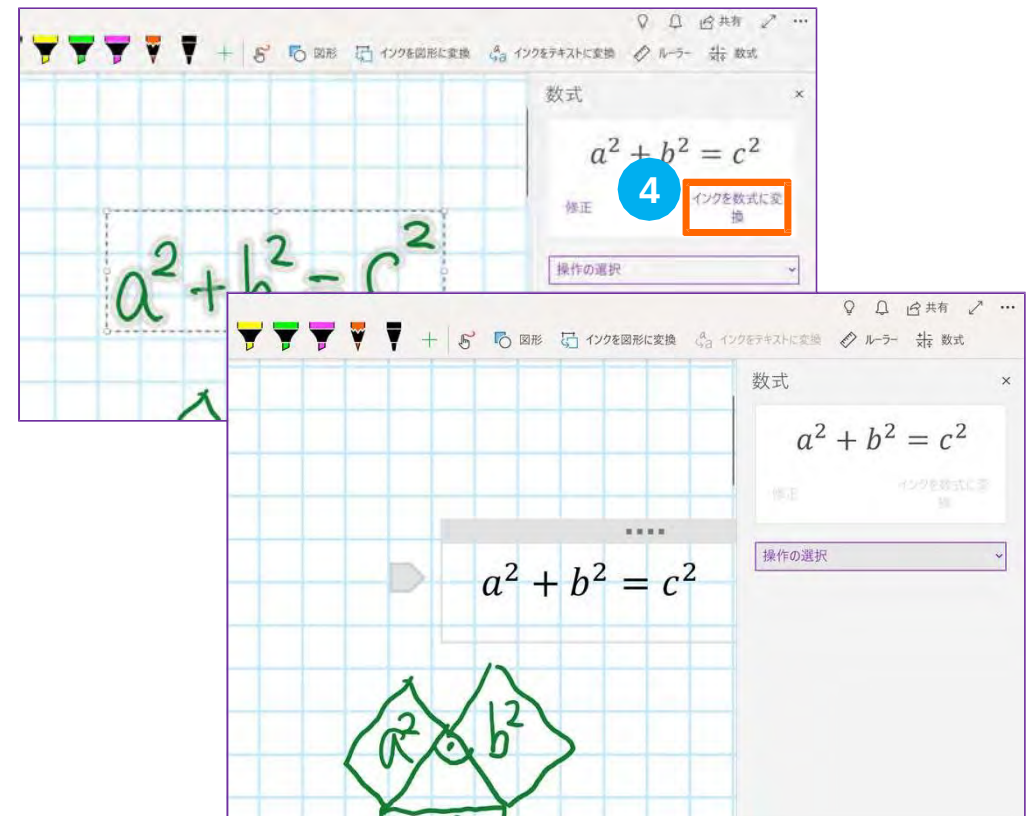


インクから数式

インクから数式

4 [インクを数式に変換]ボタンを押すと、テキストデータとして変換されます。

5 認識が正しくされなかった時は[修正]をクリックし、誤変換されている箇所だけをなげなわで選択します。



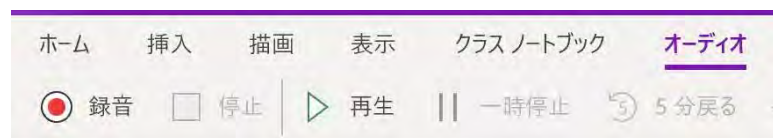
オーディオ録音

メモの録音

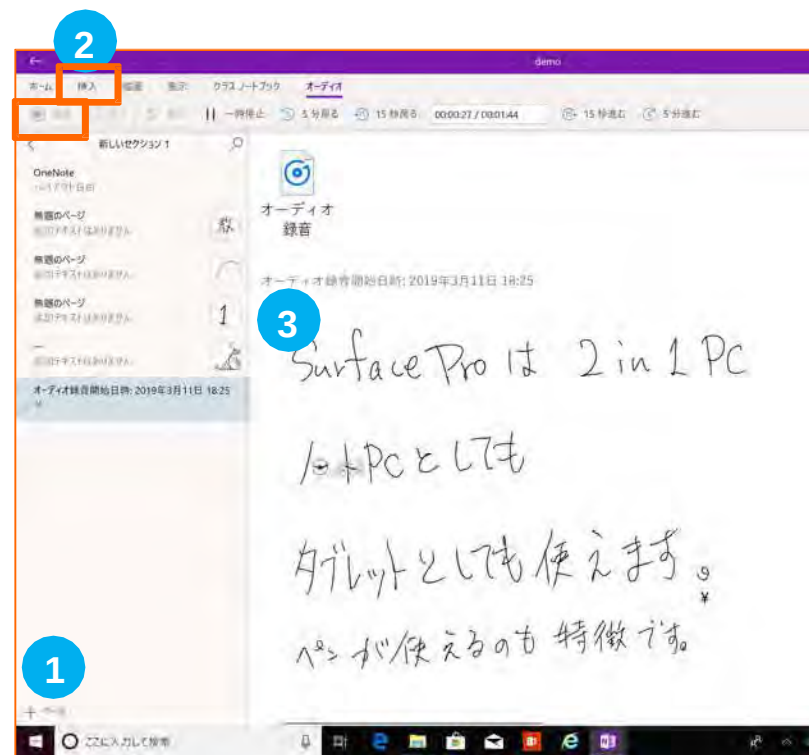
外国語の講義や早口で板書が間に合わない際に
[オーディオ録音機能]が便利です。

1 + ページ ボタンで新規ページを作成します。

2 画面左上の[挿入]タブから
[録音]をタップすると録音が始まります。



3 録音の間、なるべく多く手書きをしてみましょう。
録音できたら[停止]を押します。



オーディオと録音

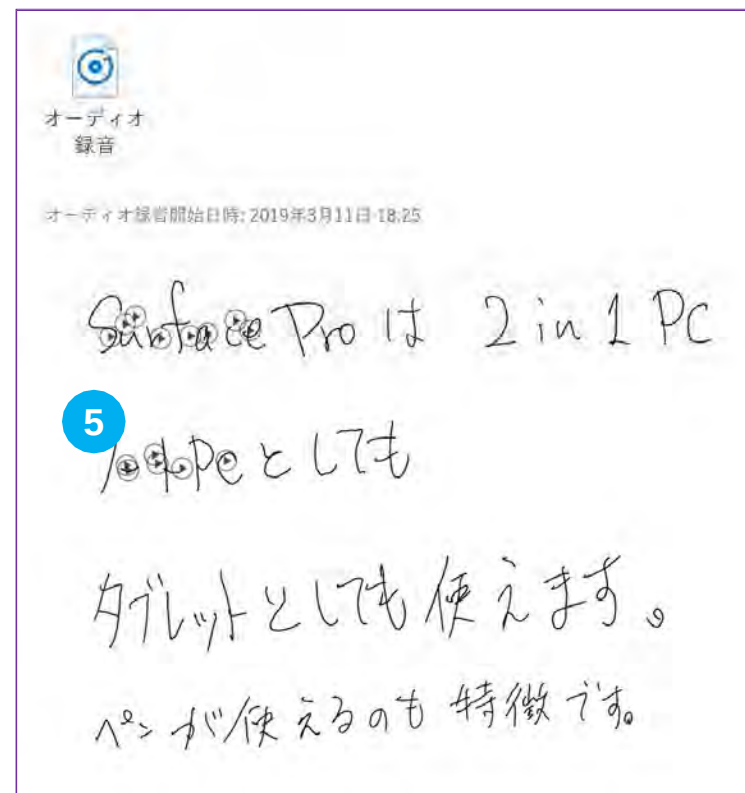
メモの録音

- 4 オーディオのタブから[再生]してみましょう。



再生とリンクして手書きしていた箇所が次々と選択されていく様子が確認できます。

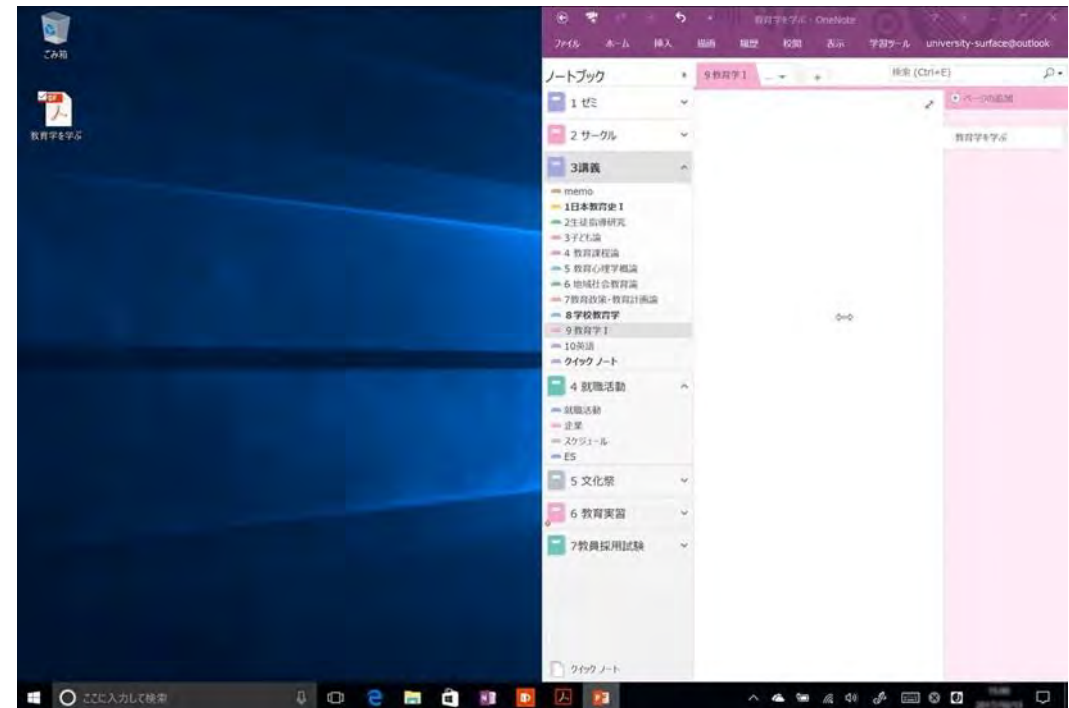
- 5 手書きしたインクを選択すると、その箇所を書き込んでいた時の音声を再生できます。



PDF を貼り付ける

OneNote に PDF を張り付ける

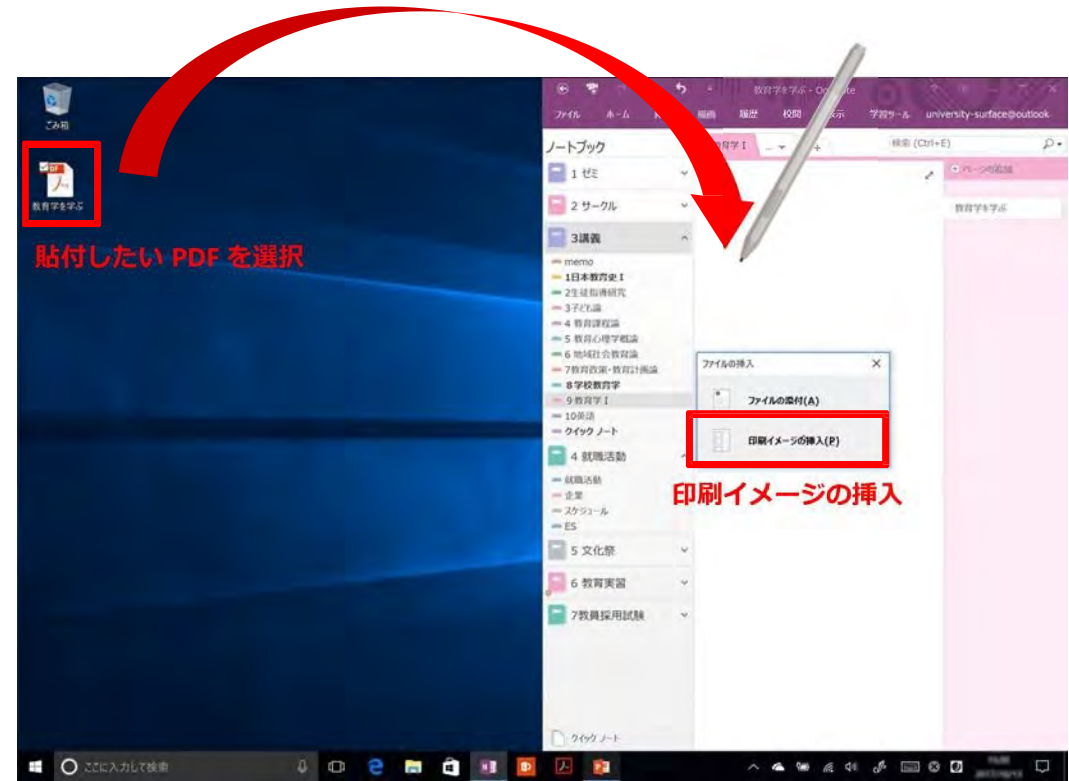
- 1 PDF の資料は見ることしかできないし、メモが取れないと感じた事はありませんか？そんな時は OneNote の[PDF の貼り付け]機能がとても便利です。
- 2 OneNote を右に移動させ、2 画面にします。



PDF を貼り付ける

PDF を張り付ける

- 3 次に、デスクトップ上にあるPDF ファイルを ペンでドラッグし、OneNote 上に移動させると [ファイルの添付]、[印刷イメージの挿入] という選択肢が出てきますので、[印刷イメージの挿入]を選択してください。

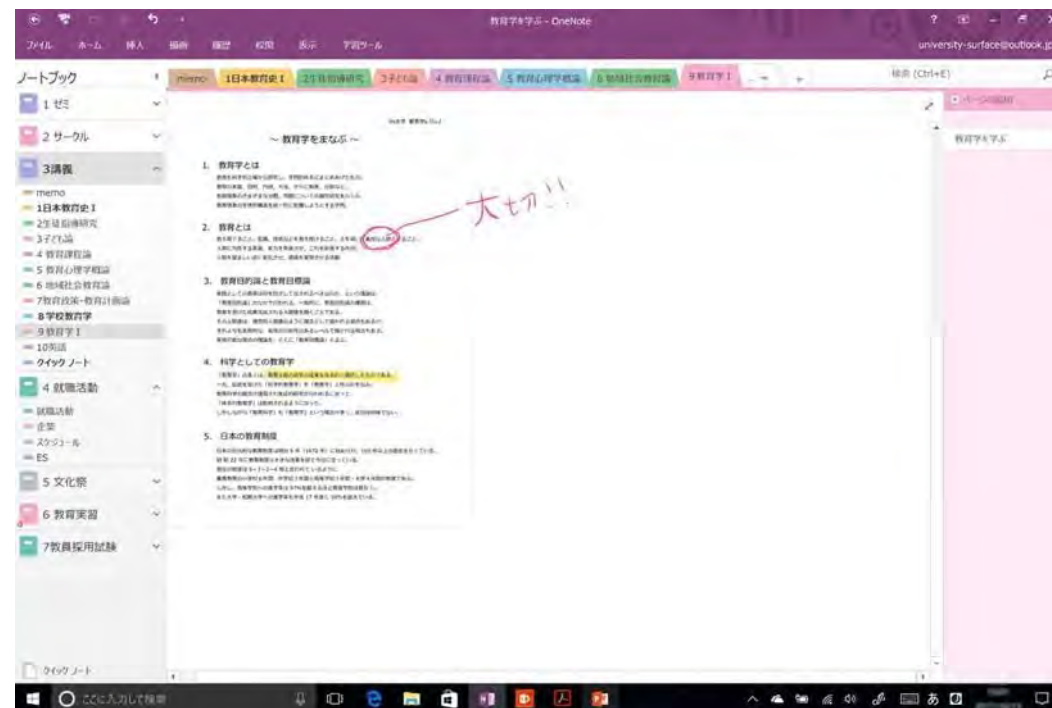


PDFの保存・書き込み

PDFの保存・書き込み

- 4 これでOneNoteの[PDF貼り付け]が完了です。これだけで、PDFをOneNote上に保存できます。

さらに、重要なポイントに手書きで書き込んだり、蛍光ペンを引いたりすることもできます。



学習ツール

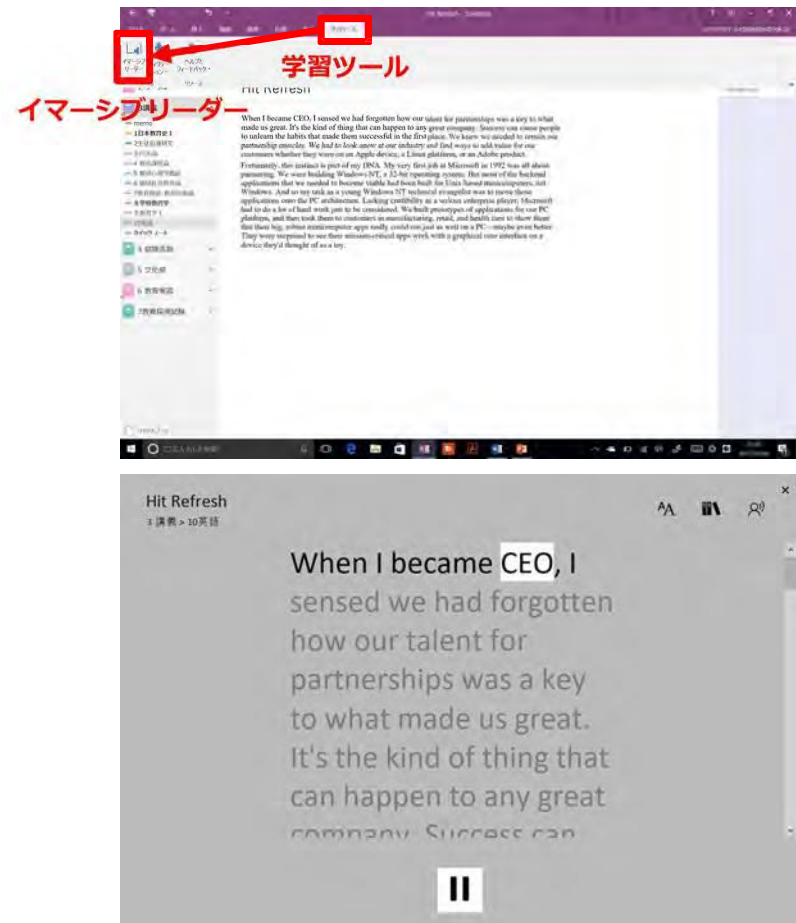
英文の読み上げ

- 1 [学習ツール]の[イマーシブリーダー]は、無料でダウンロードすることができます。

[イマーシブリーダー]はこちらのURLでダウンロードすることができます。

<https://www.onenote.com/learningtools>

この機能は、OneNote に英文を貼り付けた状態で[学習ツールタブ]の[イマーシブリーダー]をタップすると、ネイティブが聞いても綺麗な発音で単語をフォローしながら読み上げてくれます。



学習ツール

読み上げ速度の調整

- 2 また、画面右上の[人型のマーク]から、読む速さも調節できます。

Hit Refresh
3 講義 > 10 英語

When I became CEO, I sensed we had forgotten how our talent for partnerships was a key to what made us great. It's the kind of thing that can happen to any great company. Success can



学習ツール

品詞分け

3 英文を読むことなら、他のフリーソフトでも出来ますが、OneNote の良いところは、画面右上の[本のアイコン]をタップして設定すれば名詞、動詞、形容詞と品詞分けする事が出来ることです。

4 英語を含め9つの言語で読むことが出来ます。
中国語、ドイツ語、フランス語も品詞分けが可能になっています。

Hit Refresh
3 講義 > 10 英語

can happen to any great
company. Success can
cause people to unlearn
the habits that made
them successful in the
first place. We knew we
needed to retrain our
partnership muscles. We

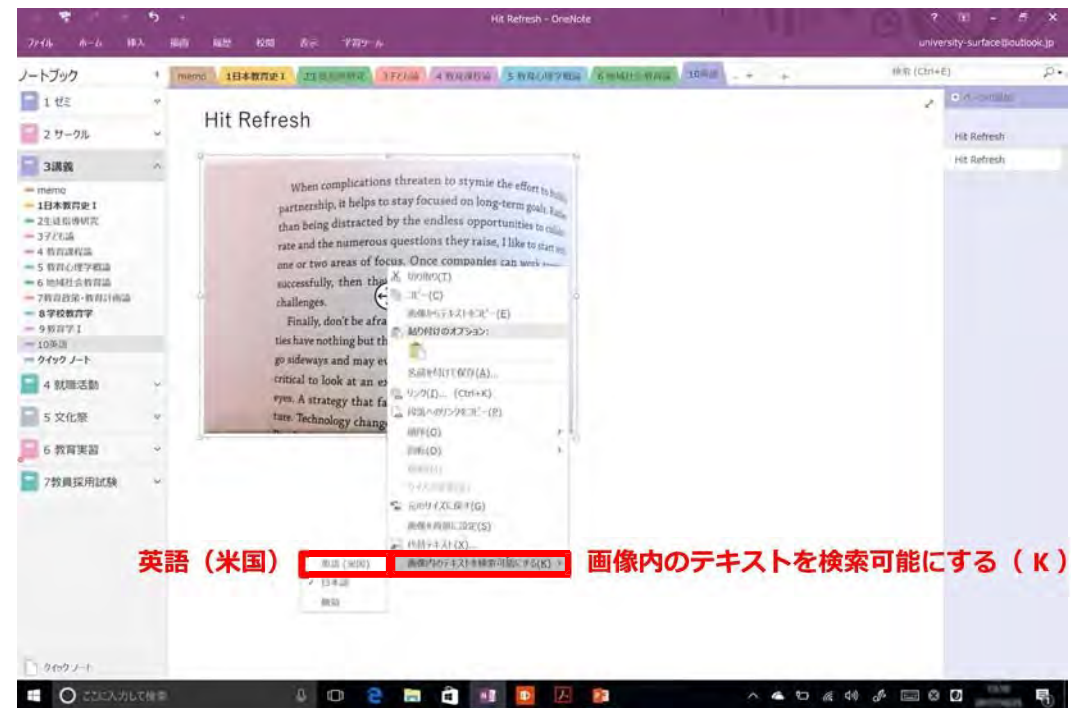


学習ツール

洋書写真の読み上げ

- 5 またこの機能は写真に撮った洋書でも使用可能です。

写真で撮った洋書をOneNoteに貼り付けます。
Surface ペンの[右クリックボタン]を
押しながら画像をタップ。
[画像内のテキストを検索可能にする]を
タップし、英語を選択してください。



学習ツール

洋書写真の読み上げ

6 そこからは先ほどと同じです。
[学習ツール]・[イマーシブリーダー]を
タップして再生すればテキスト認識して
発音してくれます。

もちろん、品詞分けもできます。

また、[イマーシブリーダー]は
多言語読みも出来ます。
英語と日本語混在した文章でもキチンと
読み上げてくれます。

Hit Refresh

3 講義 > 10英語

<

When complications threaten to
stymie the effort to build
partnership, it helps to stay
focused on long-term goals.
than being distracted by the
endless opportunities to
rate and the numerous questions
they raise, I like to start with
one or two areas of focus. Once
companies can work together



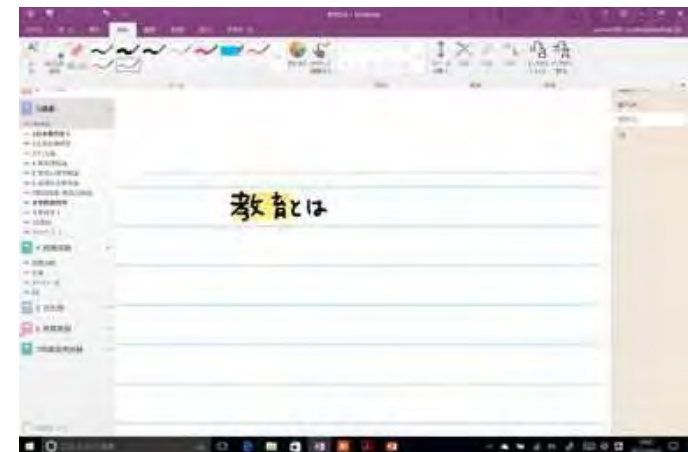
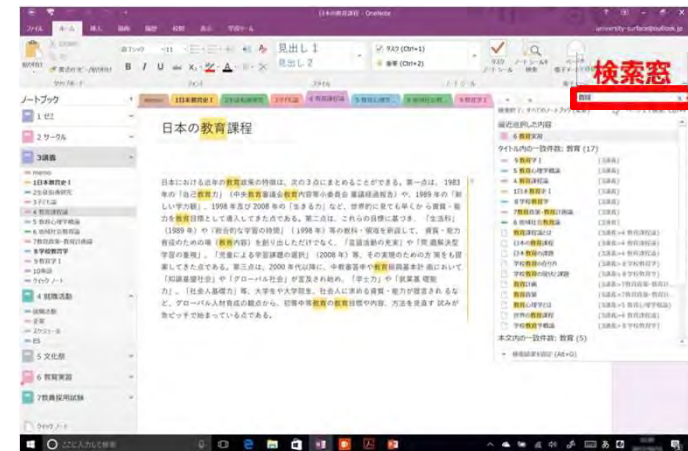
キーワード検索

キーワードの検索

- 1 試験前など、どこに書いたか検索したいとき、検索窓に探したい言葉を入力すれば、OneNote 中にある関連したものを探してくれます。

例えば、「教育」という言葉で検索すれば、右上画像のように、どこに「教育」と書かれているのか一目でわかります。

この検索は、右下画像のように手書きで書いた文字も検索できます。

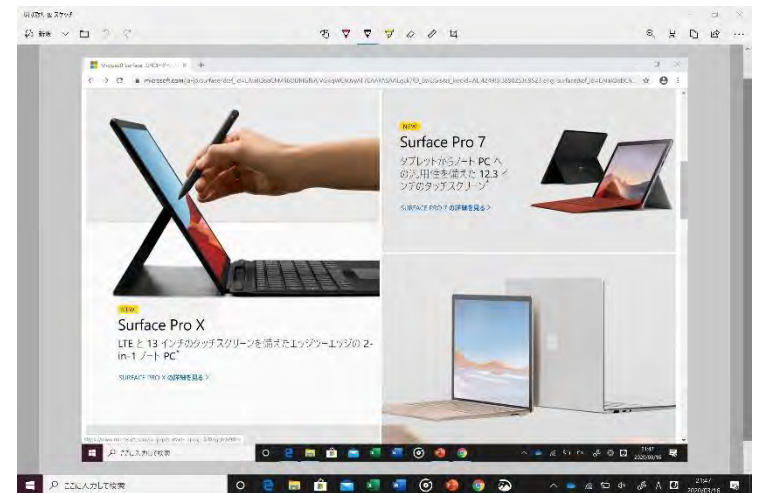


いろいろな方法でスクリーンショットを撮る

スクリーンショットの方法①

スクリーンショット①

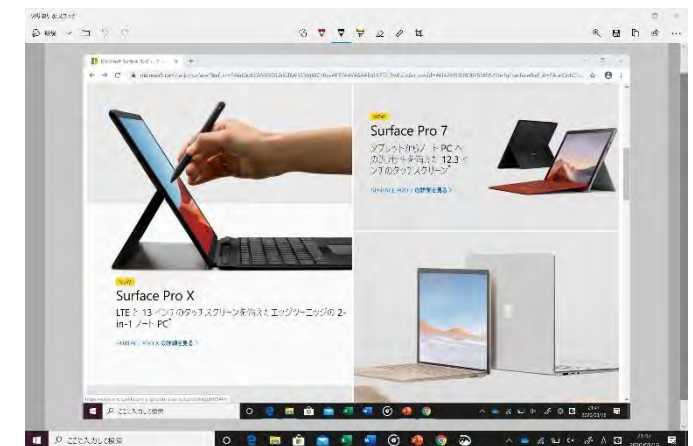
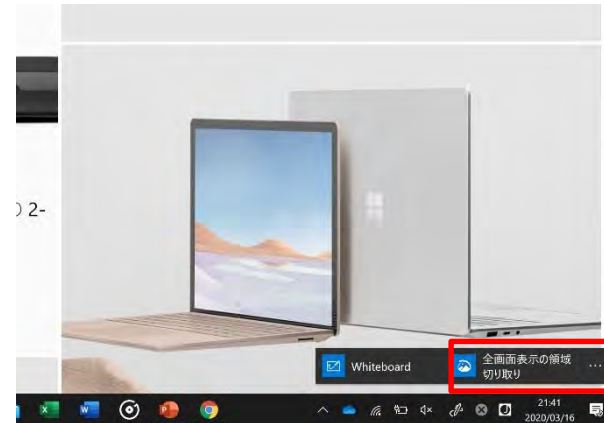
- 1 ペンがペアリングしてあれば、
ペンの頭を2回連続して押すだけで
スクリーンショットができる状態になります。



スクリーンショットの方法②

スクリーンショット②

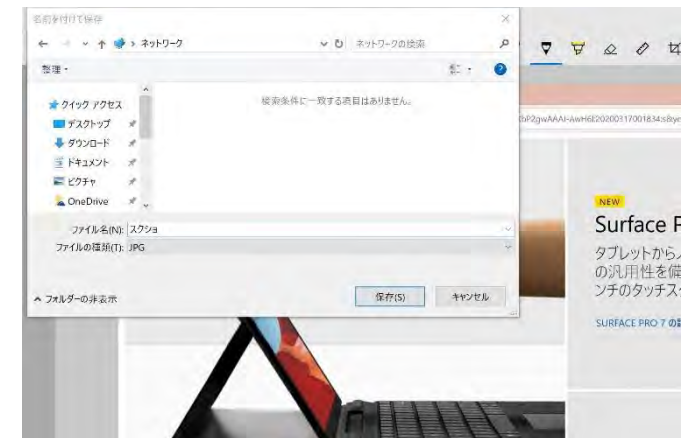
- ② また、画面右下のペンマークをタップして、[全画面表示の領域 切り取り]を選択すれば、同様にその時に開いている画面がスクリーンショットされ、自由に書き込むことができます。



スクリーンショットの方法②

スクリーンショット②

- ③ 撮ったスクリーンショットは、図①の画面上のバーの[📄]のアイコンをタップすると、保存することができます。



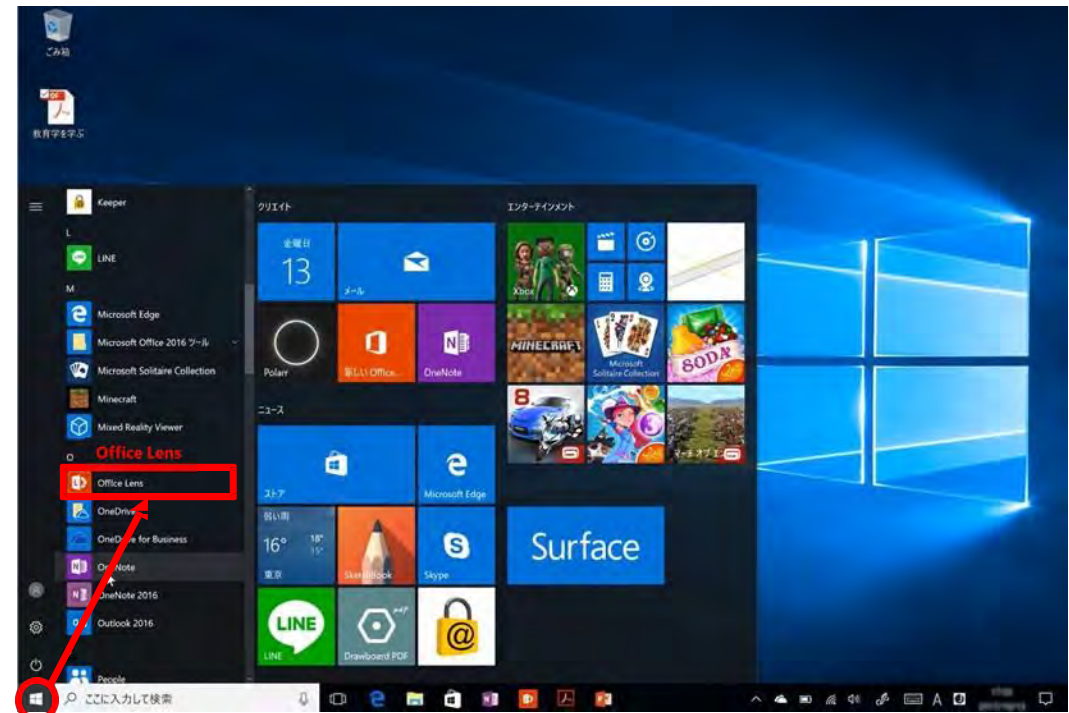
Office Lens

Office Lens の使い方

Office Lens の立ち上げ

- 1 [スタートメニュー]から、
[Office Lens]を立ち上げてください。

Office Lens はただのカメラ機能ではありません。

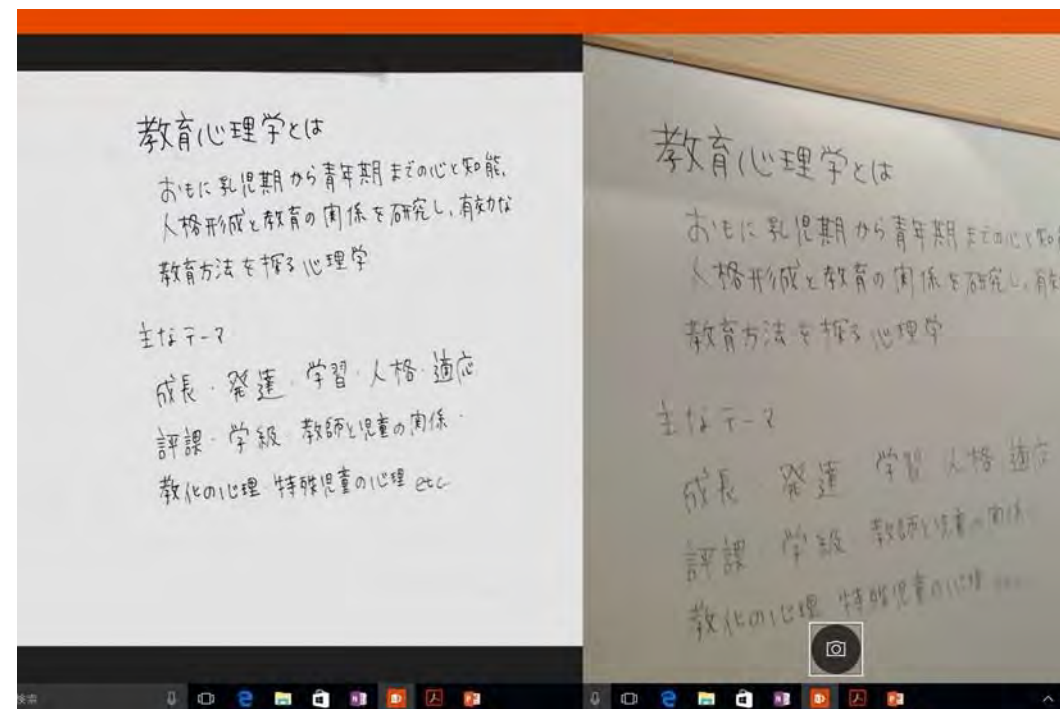


スタート

板書の撮影

板書の撮影

- 2 講義などの板書を斜めから撮影しても、この通り、まっすぐに補正してくれます。



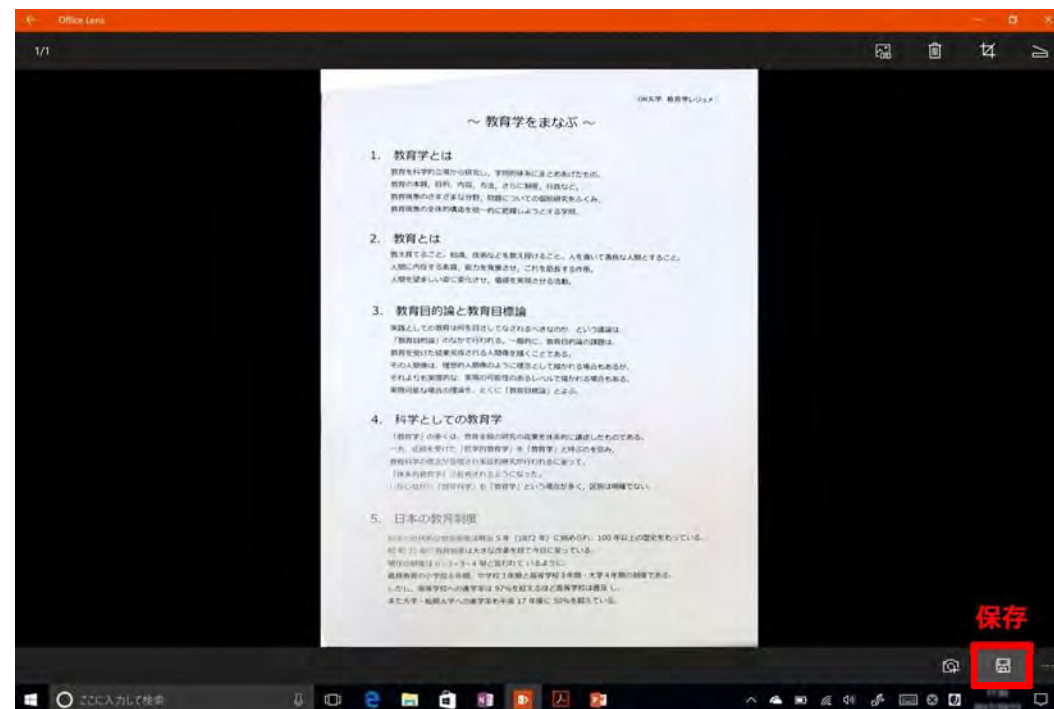
プリントの撮影

プリントの撮影

3 授業で配られたプリントなども
Office Lens で撮影し、
好きなフォーマットで保存することができます。

ここでは編集可能な[Word]に
保存する手順をご説明します。

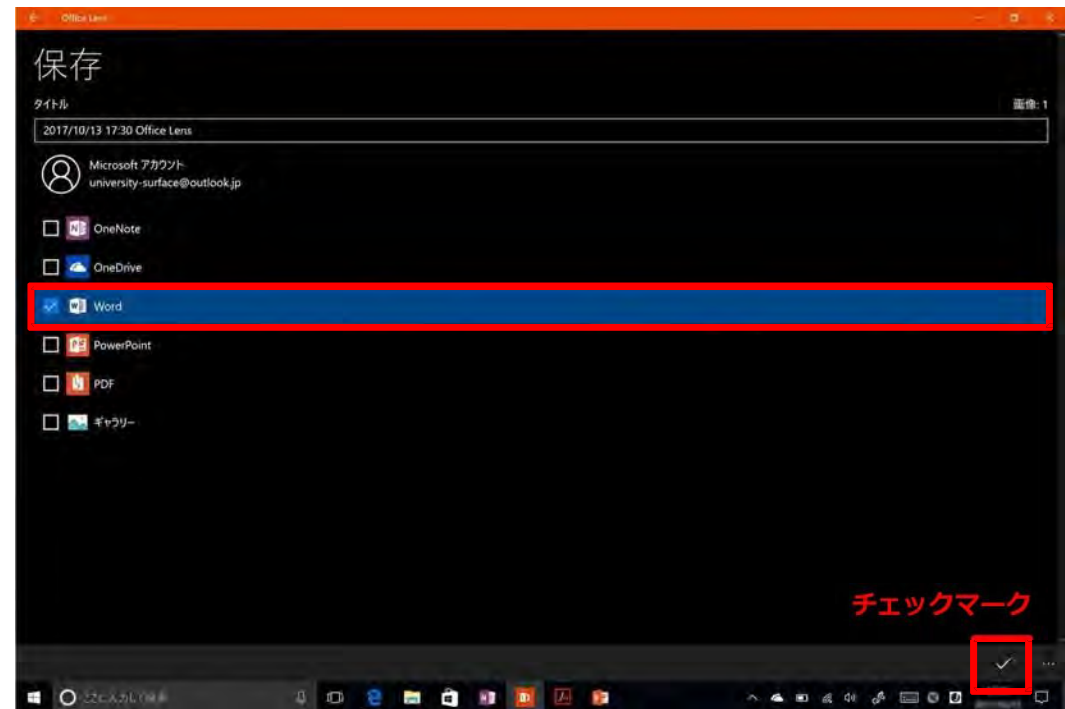
まず、画面右下の[保存]マークを選択。



Wordに変換

Word に変換

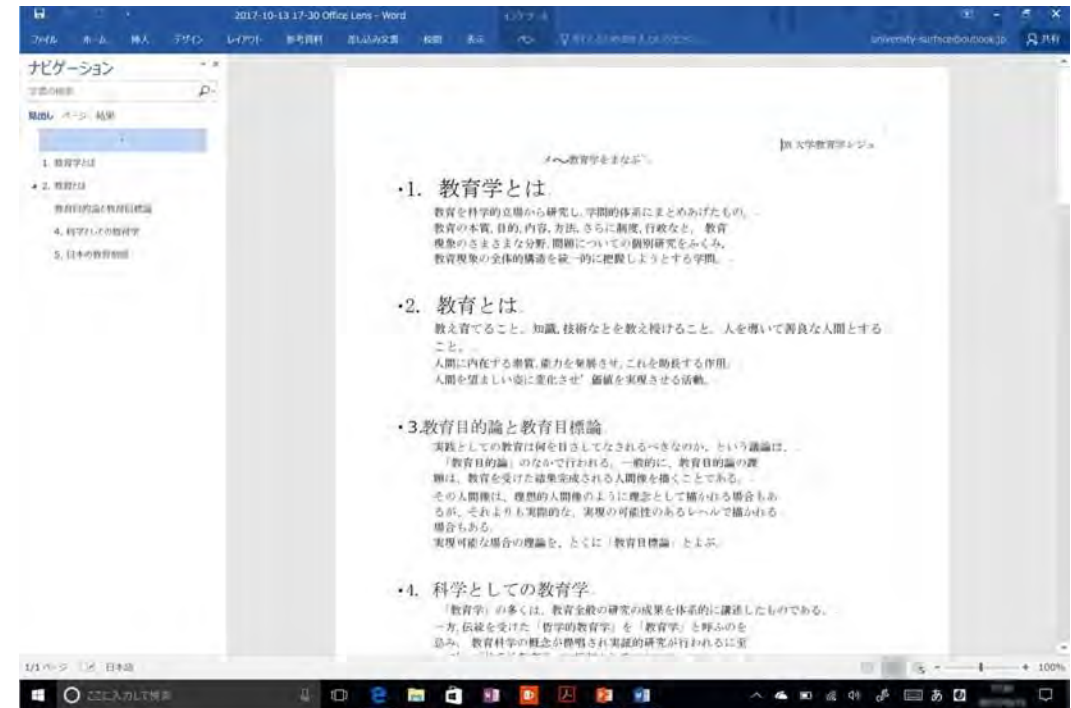
- 4 [Word] を選択し、画面右下の
チェックマークをタップして送信。



テキストの編集

テキストの編集

- 5 すると画像内の文章がテキスト化され、Word で編集することが出来ます。





© 2017 Microsoft

The information herein is for informational purposes only and represents the current view of Microsoft Corporation as of the date of this presentation. Because Microsoft must respond to changing market conditions, it should not be interpreted to be a commitment on the part of Microsoft, and Microsoft cannot guarantee the accuracy of any information provided after the date of this presentation.

Microsoft makes no warranties, express, implied or statutory, as to the information in this presentation.